

クリーンな快適都市いわくらをめざして

第5次岩倉市一般廃棄物処理計画

—ごみ処理計画—

＜資料編＞

2019（平成31）年度～2028（平成40）年度

目次	ページ
第1章 第4次岩倉市一般廃棄物処理計画の取り組み内容 (平成25年度から平成30年度まで)	1
第2章 平成20年度～平成29年度のごみと資源の排出量実績	3
行政区域内人口の比較	4
1 可燃ごみの比較(収集ごみ)	5
2 粗大ごみと不燃ごみの合計の比較(収集ごみ)	5
3 埋立ごみの比較(収集ごみ)	6
4 収集ごみの比較	6
5 可燃ごみの比較(直接搬入ごみ)	7
6 粗大ごみと不燃ごみの合計の比較(直接搬入ごみ)	7
7 埋立ごみの比較(直接搬入ごみ)	8
8 直接搬入ごみの比較	8
9 可燃ごみの比較(収集+直接搬入ごみ)	9
10 粗大ごみと不燃ごみの合計の比較(収集+直接搬入ごみ)	9
11 埋立ごみの比較(収集+直接搬入ごみ)	10
12 収集+直接搬入ごみの比較	10
13 収集資源物(プラスチック製容器包装資源)の比較	11
14 収集資源物(可燃系)の比較	11
15 収集資源物(不燃系)の比較	12
16 収集資源物(可燃系+不燃系+プラスチック製容器包装資源)の比較	12
17 集団回収量の比較	13
18 収集資源物資源化率の比較	13
19 集団回収量資源化率の比較	14
20 資源化率の比較	14
第3章 ごみ排出量の見込み	15
計画期間における人口の推計	16
1 収集ごみを見込み	17
2 直接搬入ごみ(許可業者+その他一般)の見込み	18
3 行政回収資源の見込み	19
4 集団回収資源の見込み	22

※資料編においては、便宜上「燃やすごみ」を「可燃ごみ」、「破碎ごみ」を「不燃ごみ」と表記しています。

第1章 第4次岩倉市一般廃棄物処理計画の取組内容(平成25年度から平成30年度)

評価の表示について ○…実施済 △…一部実施または検討中 ×…未実施

方針	施策	事業計画	評価	実績と評価・到達点
方針1 ご市民減・量・事業者源・化市の協働の推進による	広報・インターネット等を用いた積極的で分かりやすい情報の提供 環境教育の推進と環境意識向上に向けた施策の展開	・情報の提供、啓発・PRの実施	○	広報、ホームページ、パンフレットなど様々な機会をとらえて、啓発・PRを実施している。平成27年度には分別早見表及び手引帳(五カ国語版)を作成した。
		・大人の社会見学等施設見学の実施	○	「親子ごみ探検教室」と小学校4年生の清掃事務所見学を毎年実施している。また、平成27年度は大人を対象とした「大人の社会見学」を実施した。
		・授業、講座、イベント、講演等	○	環境フェアは毎年、多くの市民及び団体の協力を得て実施している。平成30年度には環境フェアでフードドライブを実施し、食品ロスについて周知啓発した。小学校の授業への講師派遣についても要請に基づき実施している。平成29年度には、社会人を対象とした生涯学習講座を行った。
		・市民主体の組織づくり	○	平成25年度から市民団体と協働で生ごみの堆肥化、堆肥を使った花苗づくりを行う体制をつくり、ごみ減量を目的とした活動が実施されている。
		・エコファミリー認定事業	○	ごみの分別に積極的に取り組んでいる家庭をエコファミリーとして認定し、広報に特集記事として紹介した。
		・意見・情報の募集	○	市民の声、ホームページ等で意見・情報を募集し、施策に反映している。
	自己処理責任の啓発・指導	・市民に対する環境に配慮したライフスタイルへの見直しの啓発	○	ごみと資源の分別と出し方、3Rの実践、不法投棄などごみ問題全般に対し、市民に情報提供と注意喚起を広報、ホームページ等を活用し実施した。
		・排出事業者へのごみの減量化・資源化、適正処理の指導	○	事業者向け啓発パンフレットを活用し、事業系ごみの適正な処理について働きかけをしている。
	事業者への指導・支援	・企業との懇談会の実施	△	レジ袋の削減(有料化)に関し、廃棄物減量等推進協議会、アダプ懇談会において、企業からの委員と意見交換を行った。
		・「事業所ごみ減量・資源化マニュアル」の配布	○	「事業所ごみ減量・資源化マニュアル」を作成し、事業者への指導等に活用している。
		・事業者による再利用等の促進	○	広報、事業者向けパンフレット等によるPRを実施した。
		・民間事業者による資源回収量の把握	○	スーパー等の店頭回収や新聞販売店の自主回収、古紙の回収拠点設置が進んでいるなか、平成29年度から市内の民間事業者の協力を得て資源回収量(平成28年度分)の調査を実施している。
	ごみ処理費用負担の適正化	・食品廃棄物の資源化の支援	○	スーパーマーケット等の食品関連業者による食品廃棄物の資源化に対して、リサイクルルートの確保等の支援を行っている。
		・ごみ処理費用負担の適正化	○	近隣自治体の動向を見つつ、適正な費用負担を求めるための調査・検討を実施している。
		・粗大ごみの有料戸別収集	○	粗大ごみ有料戸別収集(平成14年度開始)は、市民に定着している制度となっている。
方針2 資源循環型社会に対応した効率的な分別収集や減量化の推進	分別収集・集団回収等の推進	・デポジット制度導入の要望	△	国からの調査への回答等の機会を捉えて要望するようにしている。
		・分別収集の推進	○	分別収集及び古紙と古着の日は、各区の協力により市民と行政の協働事業として継続して実施しており、市民の間で定着している。
		・分別ルールの周知・徹底	○	分別早見表等の配布により、分別ルールの周知を図るとともに、市民の協力を得て、適正な排出及び回収の徹底に努めている。
		・日曜資源回収及びe-ライフプラザの実施	○	毎月第1・3日曜日に清掃事務所で、毎月第2・4日曜日に消防署東側防災公園で日曜資源回収実施している。また、平成27年度に常設型資源回収ステーション「e-ライフプラザ」を清掃事務所内に開設し、平日の資源回収を実施している。
		・安定した資源物の回収ルートの確保	○	資源の分別を徹底し、安定した資源物の回収ルートを確認している。
		・資源物持ち去りの禁止	○	各地区の分別収集日にパトロールを行い、市民が安心して資源を排出できる環境の維持に努めている。
		・資源集団回収の推進	○	資源集団回収の推進に向け支援措置を講じるとともに、古紙類の資源化徹底を支援している。
		・小型家電のリサイクルの推進	○	小型家電に含まれる資源の有効活用や安定確保に努めている。平成29年度からは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルに活用するためのプロジェクトに参加し、不要になった携帯電話・スマートフォンの回収を実施している。
	生ごみ等の新たなリサイクルシステムの確立	・家電4品目とパソコンの処理方法の周知	○	家電4品目やパソコンのリサイクルについては、市民への周知が図られている。また、平成27年度より小型家電リサイクル法に基づく認定事業者によるリサイクルも実施している。
		・生ごみ処理機購入補助金	○	平成25～30年度(H30.12現在)に電動式生ごみ処理機26台の補助を行った。
		・公共施設用コンポスト等の普及	○	公共施設から排出される生ごみの減量化・資源化に努めている。
		・ぼかしの普及と使用促進	○	EMぼかしの製造と普及に取り組む市民団体の活動を支援している。
		・剪定枝の資源化	○	公共施設の剪定枝をチップパーにより処理し、ごみの減量化を図っている。
		・落ち葉の堆肥化の促進	△	腐葉土として市民への周知啓発を視野に、清掃事務所等で試験的に取り組んでいる。
	事業者のリサイクル・減量化推進のための指導	・新たな生ごみリサイクルシステムの確立	○	平成25年度から市民団体と協働で生ごみの堆肥化、堆肥を使った花苗づくりを行う事業を実施している。
		・減量計画書提出時の指導	○	減量計画書の内容を検討し、提出時に指導している。
		・事業用大規模建築物の所有者以外の事業者への指導	△	個別の事案ごとに適正な廃棄物処理をするよう事業所訪問を実施している。
	適正包装の普及・推進、古紙類資源化の推進	・小牧岩倉衛生組合におけるごみ内容物調査の結果による許可業者等への指導	○	ごみ内容物調査において、適正な分別が行われていない場合は該当する許可業者や小売店等に対して指導を実施している。
		・レジ袋有料化等適正包装の普及・推進	○	平成30年4月から9月までの平均辞退率は7事業者8店舗で90.2%であった。また、レジ袋有料化店舗は減少傾向となっており、維持・拡大に向けた取り組みが課題である。
		・古紙類資源化の推進	○	分別収集、古紙と古着の日及び集団回収等において古紙類の回収を推進している。
		・ごみ減量推進店の普及	△	廃業等により認定店舗数が減少しており、普及・拡大の体制が取れていない。
		・再生品や環境配慮型の製品の使用促進	○	広報等でPRを実施している。
	公共施設のリサイクル・減量化の推進	・公共施設から発生するごみの減量化・資源化の一層の推進	○	公共施設から発生する資源の回収に努めている。
		・公共施設の再生品使用の推進	○	グリーン購入法の趣旨に従い、再生品の使用を推進している。
		・BDFの活用方法の研究	○	平成28年度まで清掃事務所のダンプ車の軽油代替燃料として使用していたが、ダンプ車の故障により公用車へのBDF使用を取りやめた。廃食用油については、継続して回収を行いBDF精製業者への売却を行っている。

方針	施策	事業計画	評価	実績と評価・到達点
方針3 環境配慮型のごみ処理システムの構築	集積場所の適正な管理 収集運搬システムの整備	・集積場所の適正な管理	○	全体的に良好な管理が行われているが、一部においてルールとマナーが乱れている集積場があり、区と協議して対応している。カラス被害については、被害の集中する時期に燃やすごみを早く回収する等の対応により被害の軽減に努めた。
		・車両の低公害車化	△	市で所有する塵芥収集車の買い替えはなかった。委託業者に対しての指導は行った。
		・清掃事務所の機能拡充	○	清掃事務所の耐震化工事に併せて、平成27年4月に常設型資源回収ステーション「e-ライフプラザ」を開設した。
		・リサイクルコミュニティセンター		
		・効率的な収集・運搬のためのシステムの整備	○	平成30年度現在、4コースを民間委託しており、今後もコース収集の見直しを実施していく。
		・排出が困難な高齢者等への対応の検討	△	要望のある世帯については個別対応をしているが、ヘルパーやボランティアとの連携は検討課題である。
	ごみ処理の安定化（小牧岩倉衛生組合）		○	環境センター（現エコルセンター）では適正な維持管理を行い、安定したごみ処理を実施。市ではごみ処理量の削減に努めている。
	環境へ配慮した適正処理の実施（小牧岩倉衛生組合）		○	環境センター（現エコルセンター）において周辺環境への配慮、大気汚染物質等排出の抑制、測定結果の公表を実施している。
	ごみ処理費用負担の適正化（小牧岩倉衛生組合）		○	平成24年度に費用の改定を実施。その後も適正な費用負担についての調査・検討を継続している。
	ごみ処理施設の更新（小牧岩倉衛生組合）	・施設更新工事	○	平成23年7月からごみ溶融施設とごみ破砕施設及び管理棟の建設を行い、平成27年3月に完成した。また、平成30年3月に旧工場棟解体が完了し、平成31年3月にはストックヤード等整備工事が完了する。
		・施設更新後のごみの出し方等	○	ごみの処理方法変更に伴い、平成27年10月に一部のごみの名称を変更し、指定袋の材質・形状及び販売方法の変更を実施した。
方針4 清潔で美しいまちづくりの推進	分別品目の見直し 資源化に伴うコストの検討	・分別品目の見直し	○	市内5箇所で拠点回収していた牛乳パックを、平成27年度より古紙として回収するようにした。また、家庭から出た廃食用油の回収を平成27年度より、羽毛ふとんの回収を平成30年度より開始した。
		・資源化に伴うコストの検討	○	費用対効果を検討し、複数の再生事業者から見積りを徴収してコスト意識を持って資源化を図っている。
	埋立量の削減（小牧岩倉衛生組合）		○	ごみ処理施設更新前は減量化・資源化等による処分場の延命化を図った。更新後はメタル・スラグの利用促進により大幅に埋立量を削減している。
	環境へ配慮した最終処分の実施（小牧岩倉衛生組合）		○	環境センター処分場では周辺環境に配慮した埋立処理を行い、また処分場からの浸出水については水処理施設において適正に処理を行っている。
	良好な生活環境の保持	・良好な生活環境の保持	○	清潔で美しいまちづくり条例の実践を行うため、市民参加のグリーンチェックいわくらなどのイベントを通じて環境美化活動を実施している。
		・アダプトプログラム事業	○	平成30年度の登録状況は平成30年12月末現在で47団体(個人参加含む)2,272人。
	岩倉市公共施設アダプトプログラム(里親制度)の推進	・アダプトプログラムの日の推進	○	毎年5月30日をアダプトプログラムの日と定め、25年度は83人、26年度は66人、27年度は64人、29年度は52人の市民が参加している。(28年度と30年度は雨天のため中止。)なお25年度から30年度までに5団体、3個人を表彰している。
		・クリーンチェックいわくら	○	環境フェアとあわせて実施し、25年度は196団体7,455人、26年度は191団体7,812人、27年度は179団体7,753人、28年度は176団体7,367人、29年度は144団体7,233人、30年度は180団体7,427人が参加。資源ごみ回収量は、25年度4,010kg、26年度4,170kg、27年度7,010kg、28年度5,220kg、29年度4,300kg、30年度6,220kg。
	特別管理一般廃棄物への対応	・ばいじん	○	小牧岩倉エコルセンターで発生した飛灰を薬剤処理し、無害化した後に委託処理を行い、一部は資源化している。
		・感染性一般廃棄物	○	医療機関による処理・処分が適切に行われるよう指導している。
		・PCBを含むもの	○	公共施設に保管されているPCBを含む廃棄物については適正に保管している。専門の処理業者への委託は一部実施した。
	その他の適正処理困難物・排出禁止物への対応	・適正処理困難物の指定	○	ホームページによる周知のほか、毎年3月に市内全戸に配布されるリーフレット「ごみと資源の分別と出し方」に引取業者の一覧と排出の方法について掲載している。
		・排出禁止物		
	在宅医療廃棄物への対応	・在宅医療廃棄物の排出時の分別徹底	○	広報及びパンフレットによる周知を継続して実施している。
		・医療機関との協議	△	協議のための検討は実施しているが、医療機関との協議は未実施である。
	災害時に発生するごみの適正処理への対応	・廃棄物処理体制の確保	○	岩倉市災害廃棄物処理計画及び岩倉市地域防災計画の風水害対策計画編に災害廃棄物処理体制について表記がされている。あわせて岩倉市業務継続計画により災害時の組織体制づくりが図られている。
		・災害廃棄物処理計画	○	平成30年度に岩倉市災害廃棄物処理計画を策定している。
	不法投棄防止対策	・不法投棄の未然防止	○	・平成25年度までに不法投棄防犯カメラ4台を購入し、不法投棄を未然防止するために設置・運用している。 ・不法投棄監視ウィークの実施 ・環境保全課と都市整備課との連携による不法投棄の監視パトロール及び回収 ・不法投棄収集業務委託化(平成19年度から)
		・空き地の適正な管理についての指導	○	不法投棄させない環境づくりの一環として、土地所有者への指導を行っている。
		・グリーンチェックいわくらやアダプトプログラムの一斉実施日を活用した不法投棄ごみの回収	○	グリーンチェックいわくらやアダプトプログラムの日の環境美化活動の際、不法投棄ごみを回収している。
計画の進捗	岩倉市環境審議会	・岩倉市環境審議会	○	一般廃棄物処理計画基本計画の一部見直しや生活排水処理基本計画など重要事項を審議した。
	岩倉市廃棄物減量等推進協議会	・岩倉市廃棄物減量等推進協議会	○	一般廃棄物処理計画推進計画及び実施計画、レジ袋削減などごみ減量について協議した。また、平成30年度に岩倉市災害廃棄物処理計画について協議した。

第2章 平成20年度～平成29年度のごみと資源の排出量実績

単位:人・トン

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
行政区域内人口(実績)	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849
行政区域内人口(見通し)	48,816	48,911	49,007	49,010	48,397	48,283	48,172	47,165	46,709	46,249
比較	119	▲139	▲613	▲1,017	▲739	▲809	▲486	491	1,291	1,600

収集ごみ量A	可燃ごみ(実績)	8,214	7,956	7,769	7,704	7,543	7,456	7,421	7,362	7,230	7,199
	可燃ごみ(見通し)	8,196	7,968	7,843	7,658	7,617	7,419	7,244	7,248	7,060	6,887
	比較	18	▲12	▲74	46	▲74	37	177	114	170	312
	粗大ごみ(実績)	51	59	49	45	44	53	50	63	58	57
	粗大ごみ(見通し)	53	50	51	51	35	35	35	52	51	51
	比較	▲2	9	▲2	▲6	9	18	15	11	7	6
	不燃ごみ(実績)	965	948	962	898	862	856	812	813	775	726
	不燃ごみ(見通し)	944	961	922	884	886	864	844	775	752	726
	比較	21	▲13	40	14	▲24	▲8	▲32	38	23	0
	埋立ごみ(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埋立ごみ(見通し)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計(実績)	9,230	8,963	8,780	8,647	8,449	8,365	8,283	8,238	8,063	7,982
	計(見通し)	9,193	8,979	8,816	8,593	8,538	8,318	8,123	8,075	7,863	7,664
	比較	37	▲16	▲36	54	▲89	47	160	163	200	318

直接搬入ごみ量	可燃ごみ(実績)	1,512	1,632	1,466	1,583	1,331	1,346	1,327	1,347	1,436	1,437
	可燃ごみ(見通し)	1,583	1,395	1,395	1,395	1,469	1,469	1,469	1,354	1,354	1,354
	比較	▲71	237	71	188	▲138	▲123	▲142	▲7	82	83
	粗大ごみ(実績)	163	130	109	101	126	143	139	144	159	163
	粗大ごみ(見通し)	236	175	175	175	145	145	145	142	142	142
	比較	▲73	▲45	▲66	▲74	▲19	▲2	▲6	2	17	21
	不燃ごみ(実績)	57	68	41	34	28	28	20	26	25	22
	不燃ごみ(見通し)	31	48	48	48	62	62	62	54	54	54
	比較	26	20	▲7	▲14	▲34	▲34	▲42	▲28	▲29	▲32
	埋立ごみ(実績)	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118
	埋立ごみ(見通し)	112	120	0	0	0	0	0	2	2	2
	比較	13	▲4	1	4	2	2	1	▲1	6	116
	計(実績)	1,857	1,946	1,617	1,722	1,487	1,519	1,487	1,518	1,628	1,740
	計(見通し)	1,962	1,738	1,618	1,618	1,676	1,676	1,676	1,552	1,552	1,552
	比較	▲105	208	▲1	104	▲189	▲157	▲189	▲34	76	188

収集+直接搬入ごみ量	可燃ごみ(実績)	9,726	9,588	9,235	9,287	8,874	8,802	8,748	8,709	8,666	8,636
	可燃ごみ(見通し)	9,779	9,363	9,238	9,053	9,086	8,888	8,713	8,602	8,414	8,241
	比較	▲53	225	▲3	234	▲212	▲86	35	107	252	395
	粗大ごみ(実績)	214	189	158	146	170	196	189	207	217	220
	粗大ごみ(見通し)	289	225	226	226	180	180	180	194	193	193
	比較	▲75	▲36	▲68	▲80	▲10	16	9	13	24	27
	不燃ごみ(実績)	1,022	1,016	1,003	932	890	884	832	839	800	748
	不燃ごみ(見通し)	975	1,009	970	932	948	926	906	829	806	780
	比較	47	7	33	0	▲58	▲42	▲74	10	▲6	▲32
	埋立ごみ(実績)	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118
	埋立ごみ(見通し)	112	120	0	0	0	0	0	2	2	2
	比較	13	▲4	1	4	2	2	1	▲1	6	116
	計(実績)	11,087	10,909	10,397	10,369	9,936	9,884	9,770	9,756	9,691	9,722
	計(見通し)	11,155	10,717	10,434	10,211	10,214	9,994	9,799	9,627	9,415	9,216
	比較	▲68	192	▲37	158	▲278	▲110	▲29	129	276	506

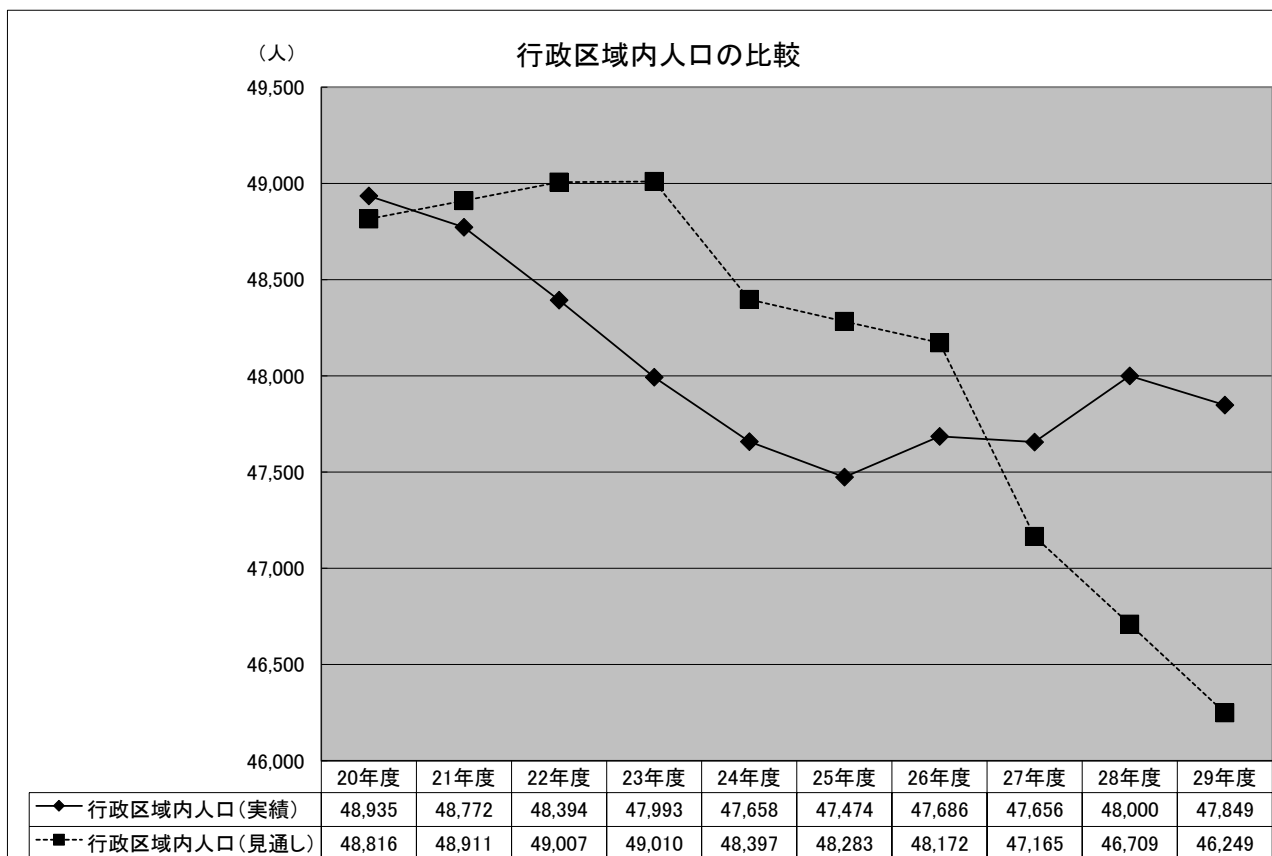
収集資源物B	プラスチック製容器包装資源(実績)	668	639	673	691	692	711	720	723	719	713
	プラスチック製容器包装資源(見通し)	756	630	656	692	709	705	721	740	752	777
	比較	▲88	9	17	▲1	▲17	6	▲1	▲17	▲33	▲64
	可燃系資源(実績)	961	886	847	744	721	661	575	523	501	487
	可燃系資源(見通し)	1,265	916	1,065	1,224	780	776	792	602	614	624
	比較	▲304	▲30	▲218	▲480	▲59	▲115	▲217	▲79	▲113	▲137
	不燃系資源(実績)	489	466	458	443	468	521	475	498	493	483
	不燃系資源(見通し)	552	463	523	584	484	484	484	449	444	440
	比較	▲63	3	▲65	▲141	▲16	37	▲9	49	49	43
	計(実績)	2,118	1,991	1,978	1,878	1,881	1,893	1,770	1,744	1,713	1,683
	計(見通し)	2,573	2,009	2,244	2,500	1,973	1,965	1,997	1,791	1,810	1,841
	比較	▲455	▲18	▲266	▲622	▲92	▲72	▲227	▲47	▲97	▲158

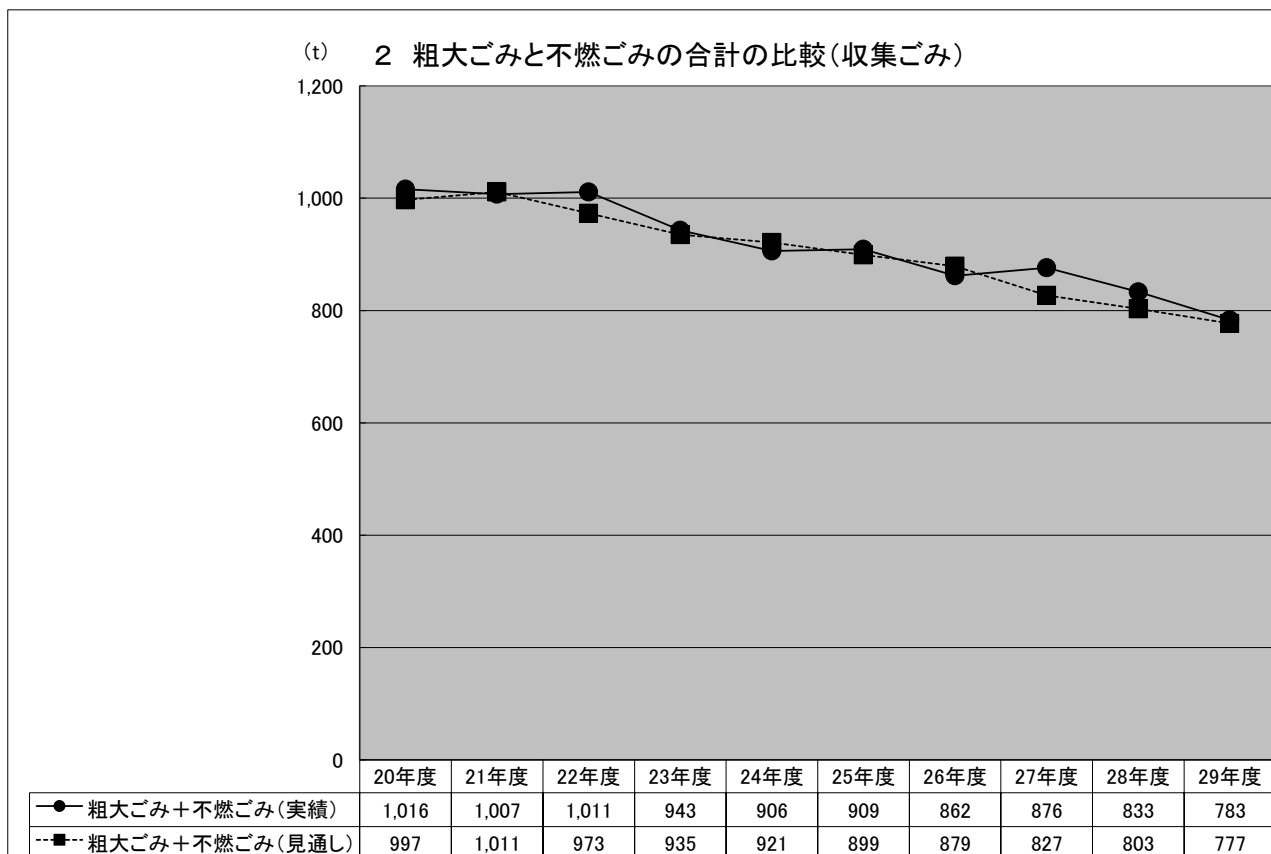
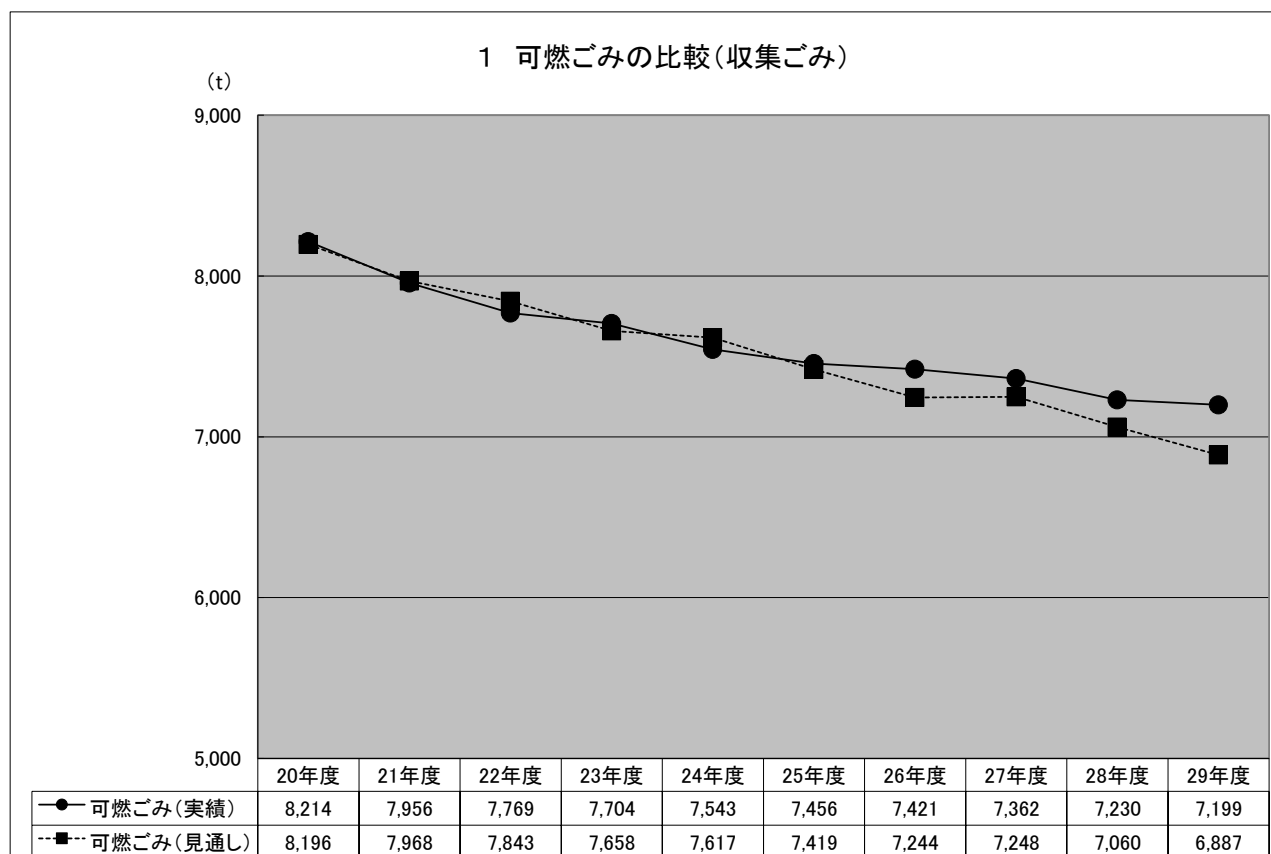
収集団回収C	集団回収量(実績)	1,671	1,584	1,475	1,200	1,130	1,008	709	819	717	736
	集団回収量(見通し)	1,934	1,718	1,749	1,774	1,222	1,239	1,256	700	700	700
	比較	▲263	▲134	▲274	▲574	▲92	▲231	▲547	119	17	36

収集資源物資源化率(実績)(%)B/A+B+C	16.27%	15.88%	16.17%	16.02%	16.41%	16.80%	16.45%	16.15%	16.33%	16.18%
収集資源物資源化率(見通し)(%)B/A+B+C	18.78%	15.81%	17.52%	19.43%	16.82%	17.05%	17.55%	16.95%	17.45%	18.04%
比較	-2.51%	0.07%	-1.35%	-3.41%	-0.41%	-0.25%	-1.10%	-0.80%	-1.12%	-1.86%

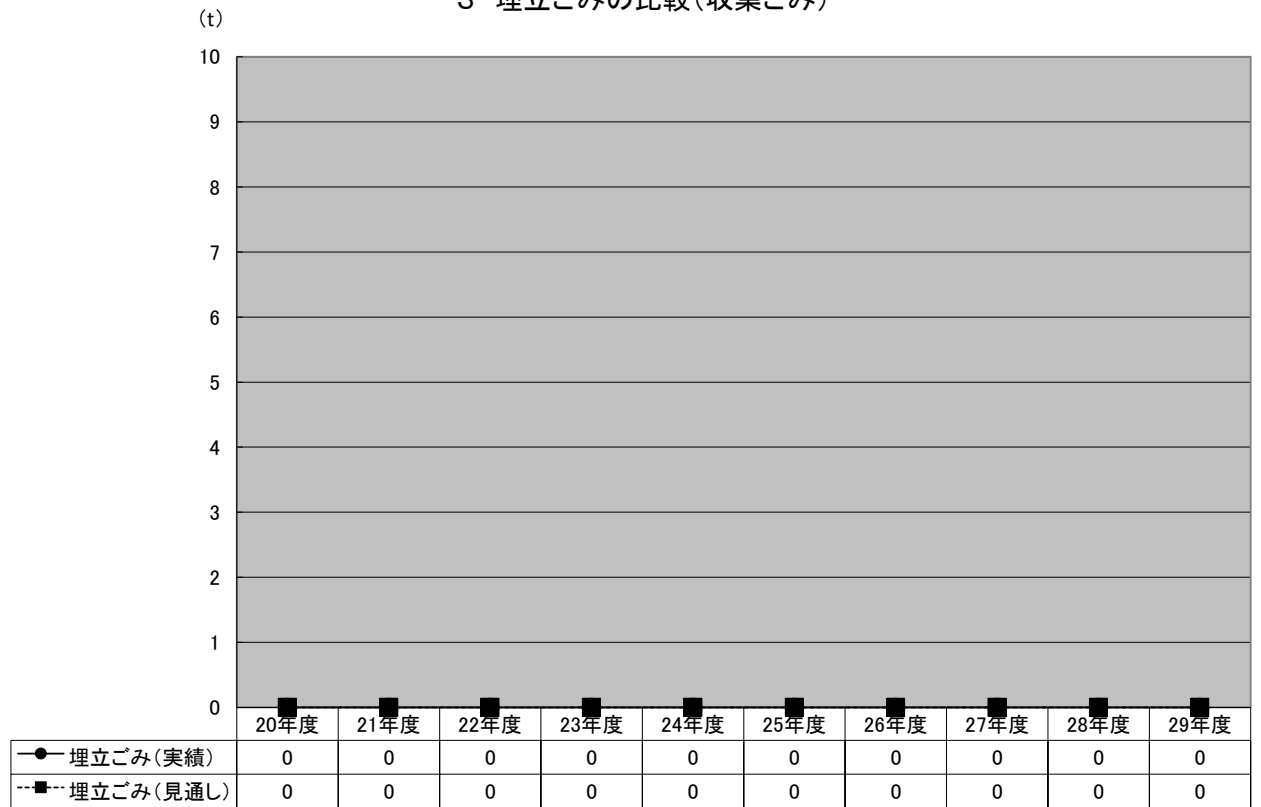
集団回収資源化率(実績)(%)C/A+B+C	12.84%	12.63%	12.06%	10.23%	9.86%	8.95%	6.59%	7.58%	6.83%	7.08%
集団回収資源化率(見通し)(%)C/A+B+C	14.12%	13.52%	13.65%	13.79%	10.42%	10.75%	11.04%	6.63%	6.75%	6.86%
比較	-1.28%	-0.89%	-1.59%	-3.56%	-0.56%	-1.80%	-4.45%	0.95%	0.08%	0.22%

資源化率(実績)(%)B+C/A+B+C	29.11%	28.51%	28.23%	26.25%	26.27%	25.75%	23.03%	23.73%	23.16%	23.26%
資源化率(見通し)(%)B+C/A+B+C	32.90%	29.33%	31.17%	33.22%	27.23%	27.81%	28.60%	23.58%	24.20%	24.90%
比較	-3.79%	-0.82%	-2.94%	-6.97%	-0.96%	-2.06%	-5.57%	0.15%	-1.04%	-1.64%

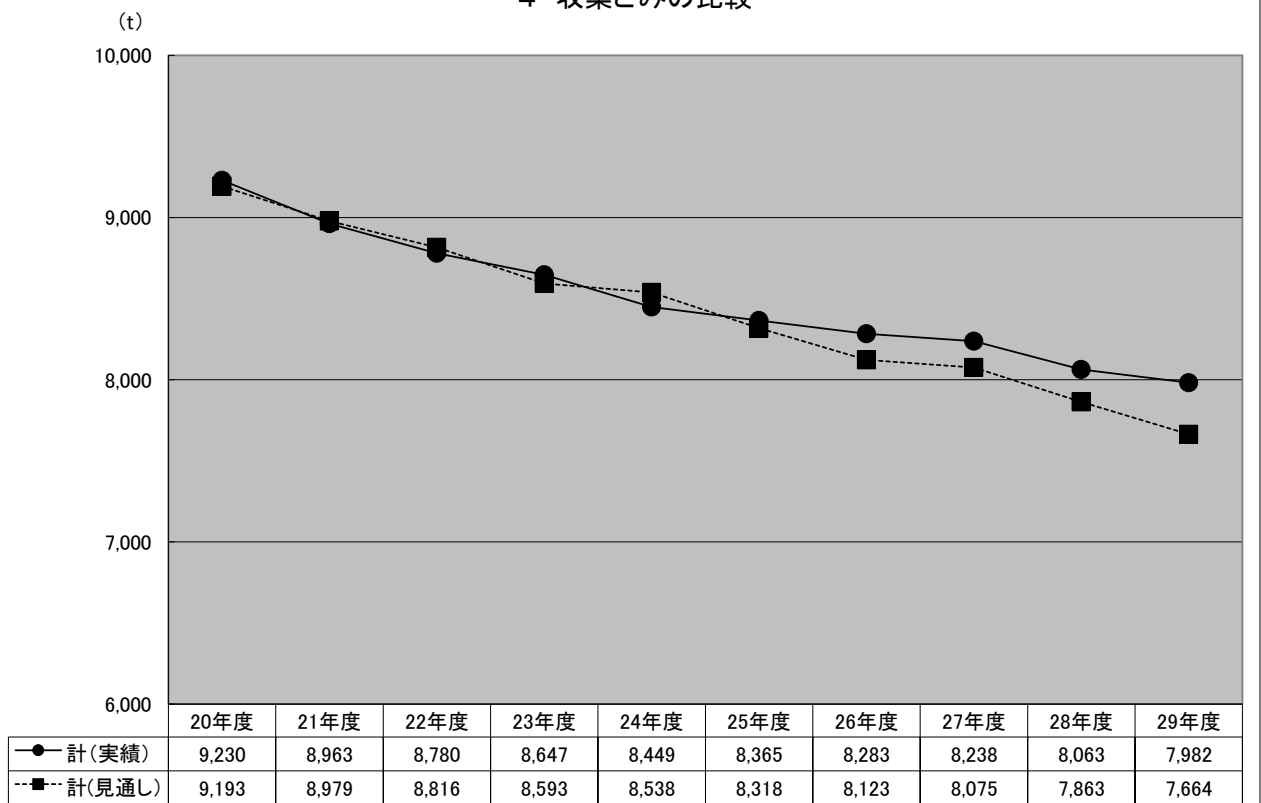




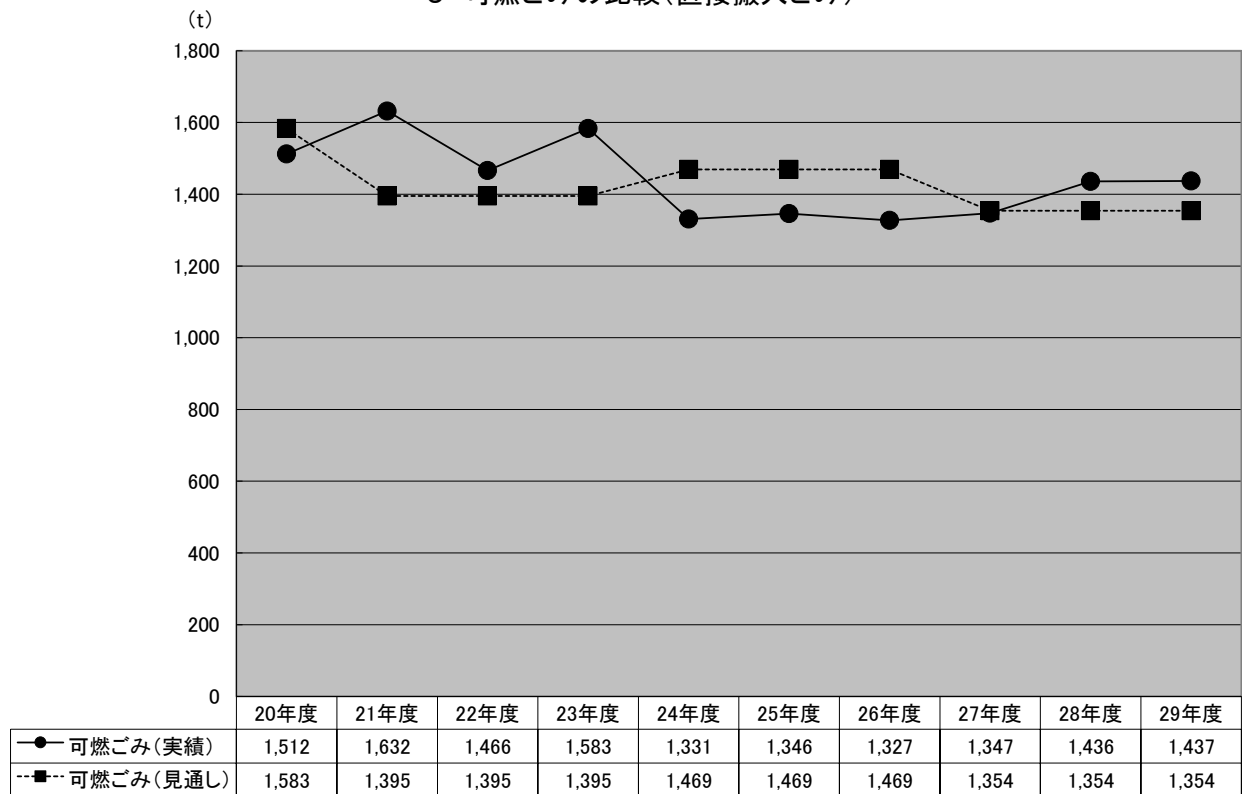
3 埋立ごみの比較(収集ごみ)



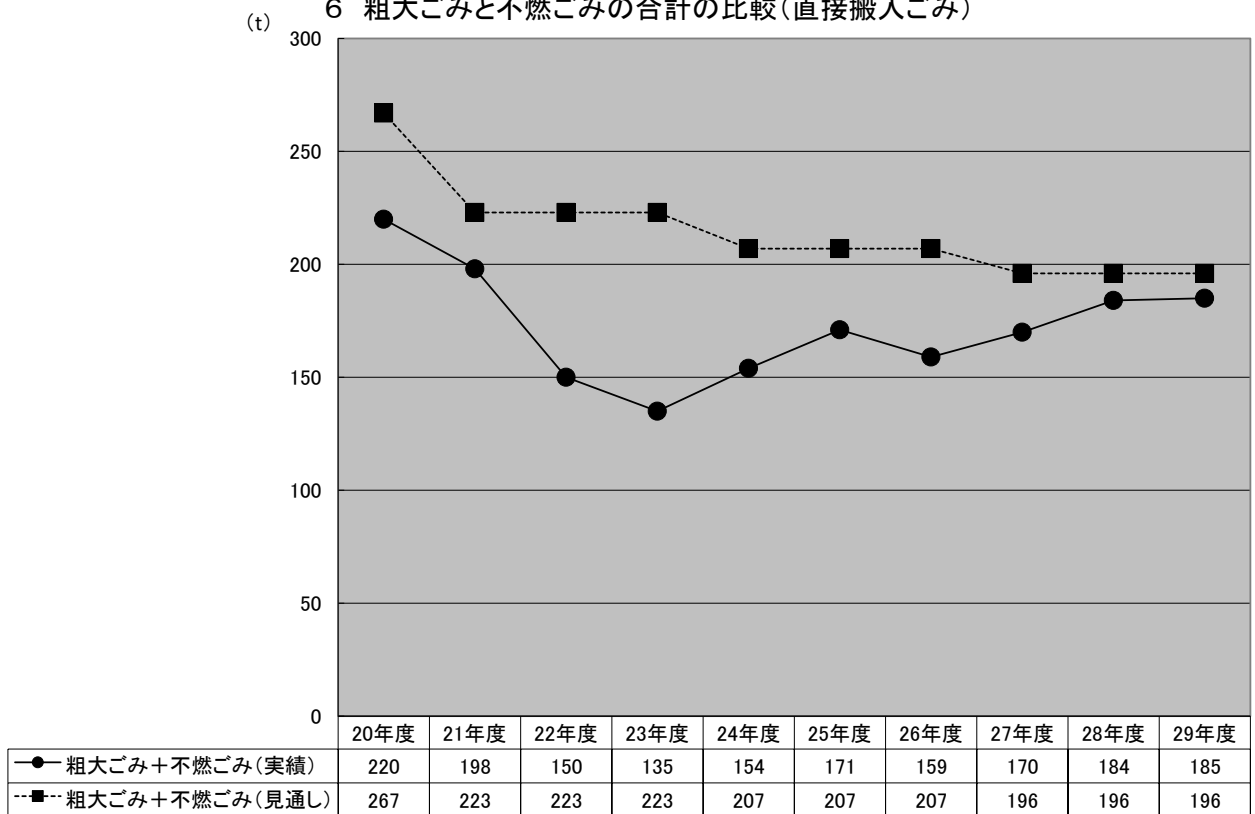
4 収集ごみの比較



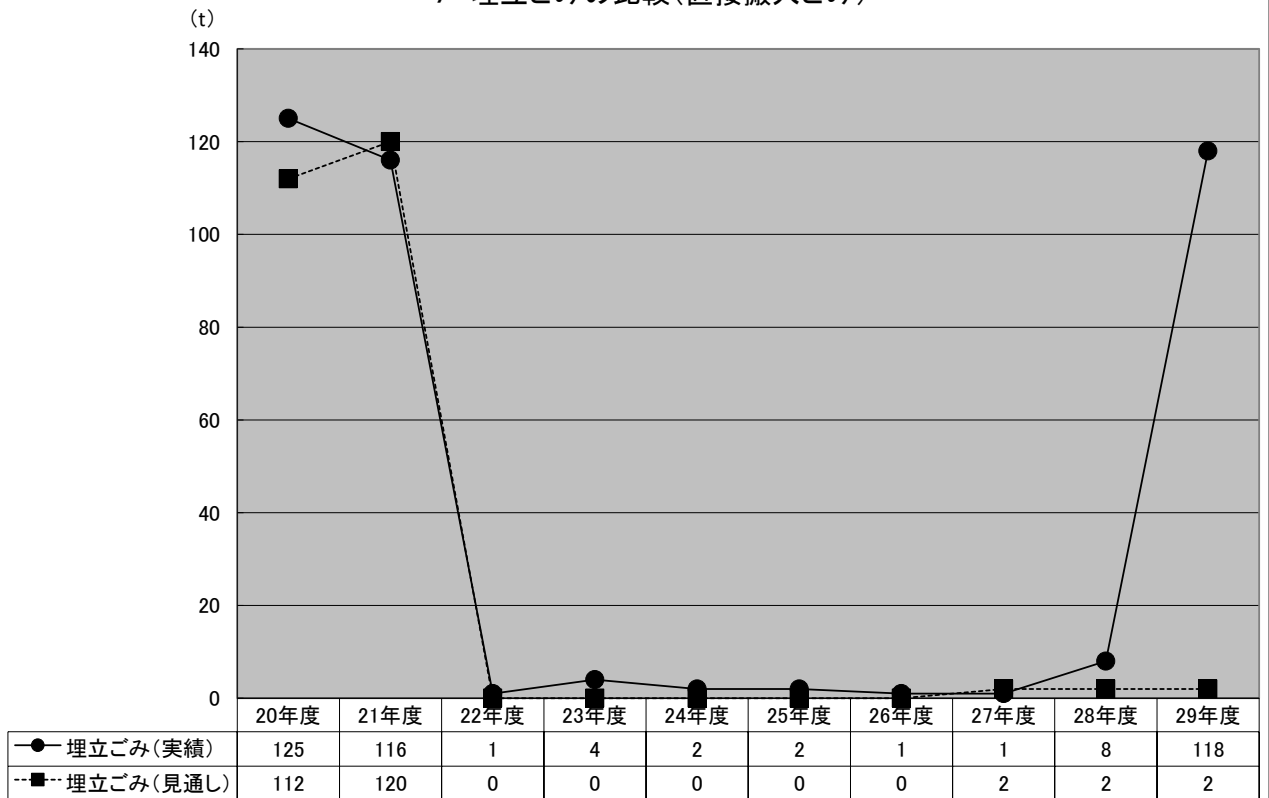
5 可燃ごみの比較(直接搬入ごみ)



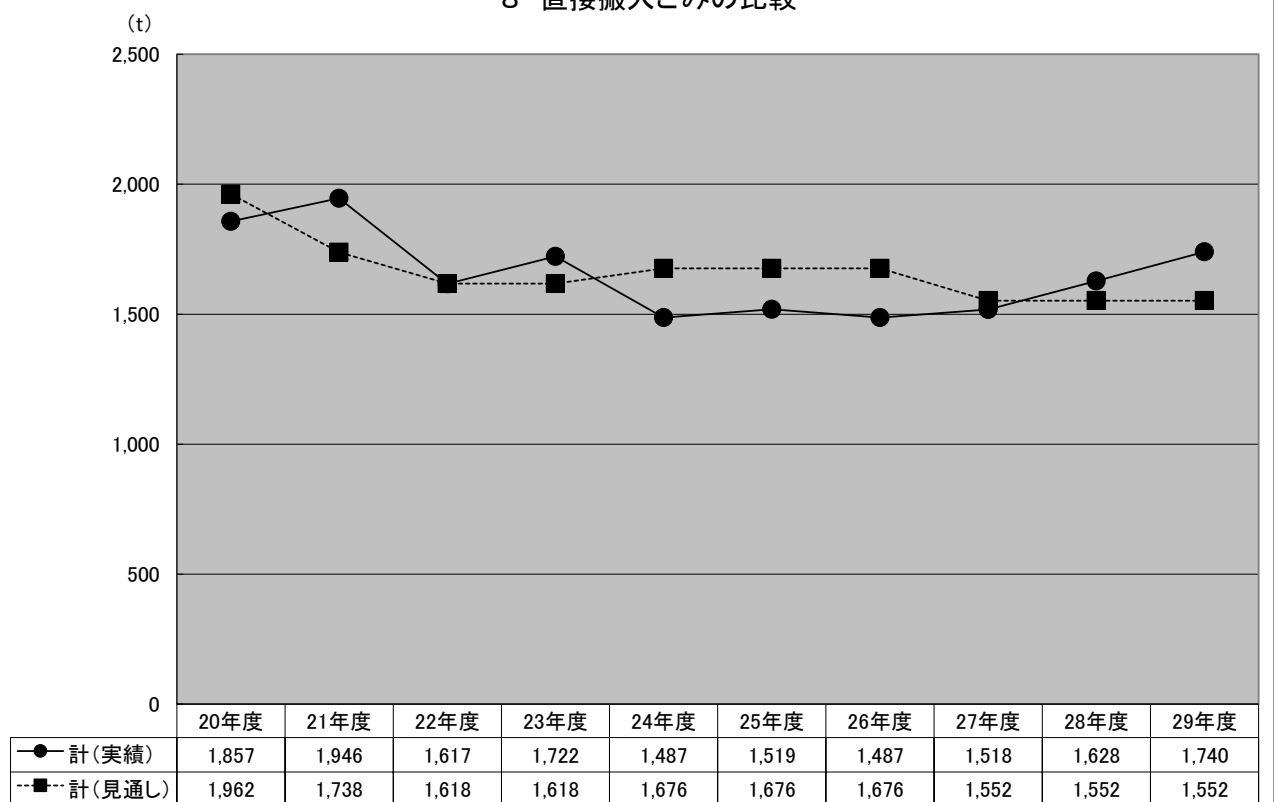
6 粗大ごみと不燃ごみの合計の比較(直接搬入ごみ)



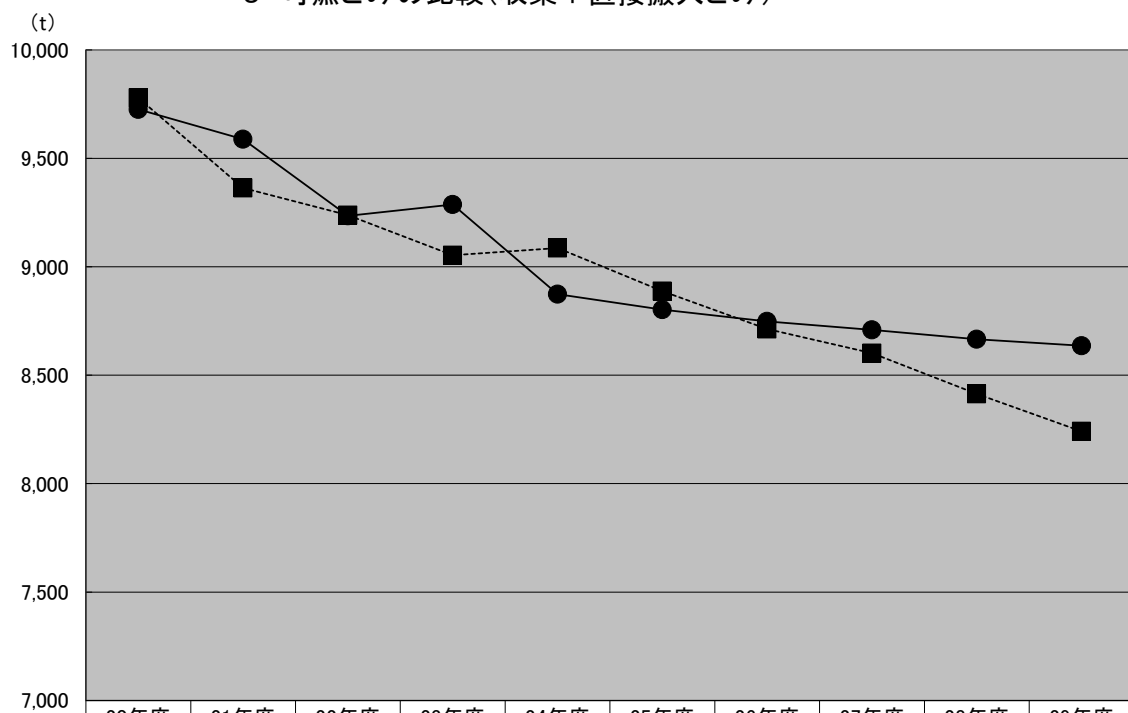
7 埋立ごみの比較(直接搬入ごみ)



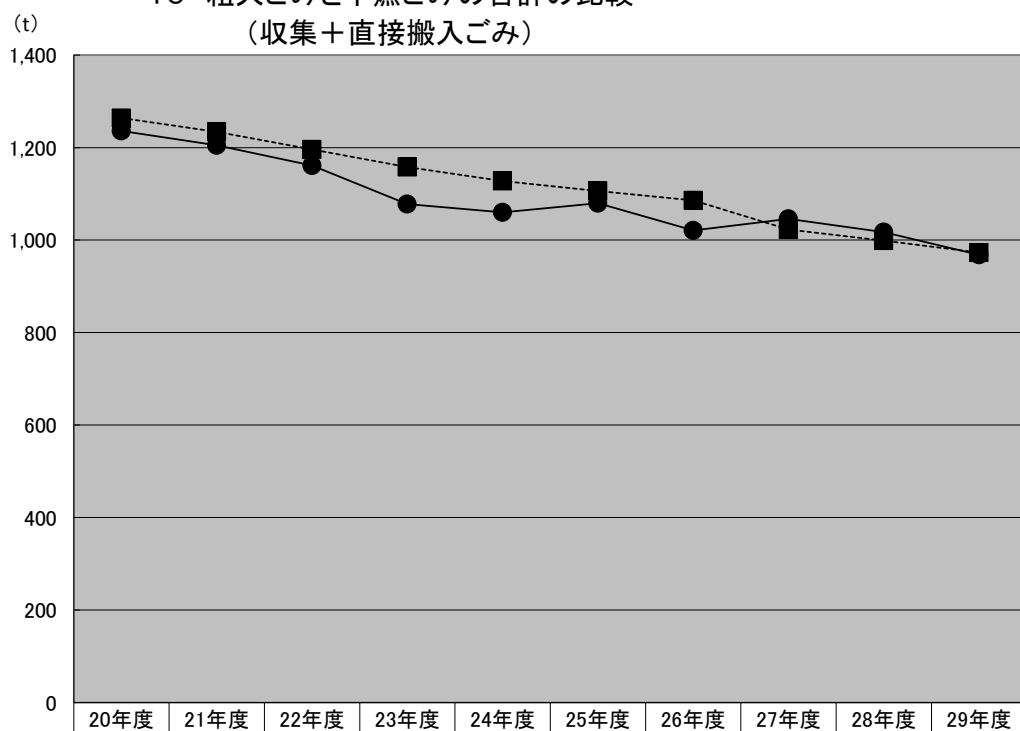
8 直接搬入ごみの比較



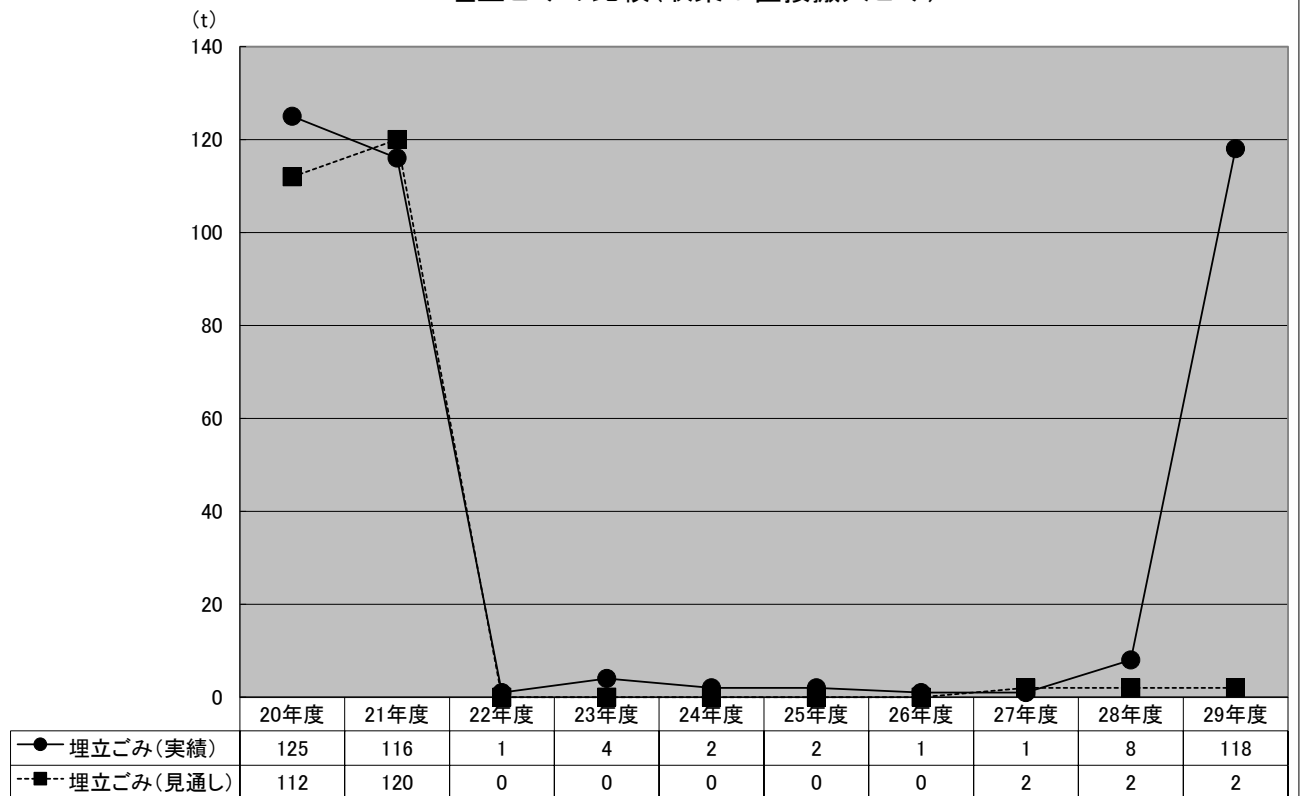
9 可燃ごみの比較(収集+直接搬入ごみ)



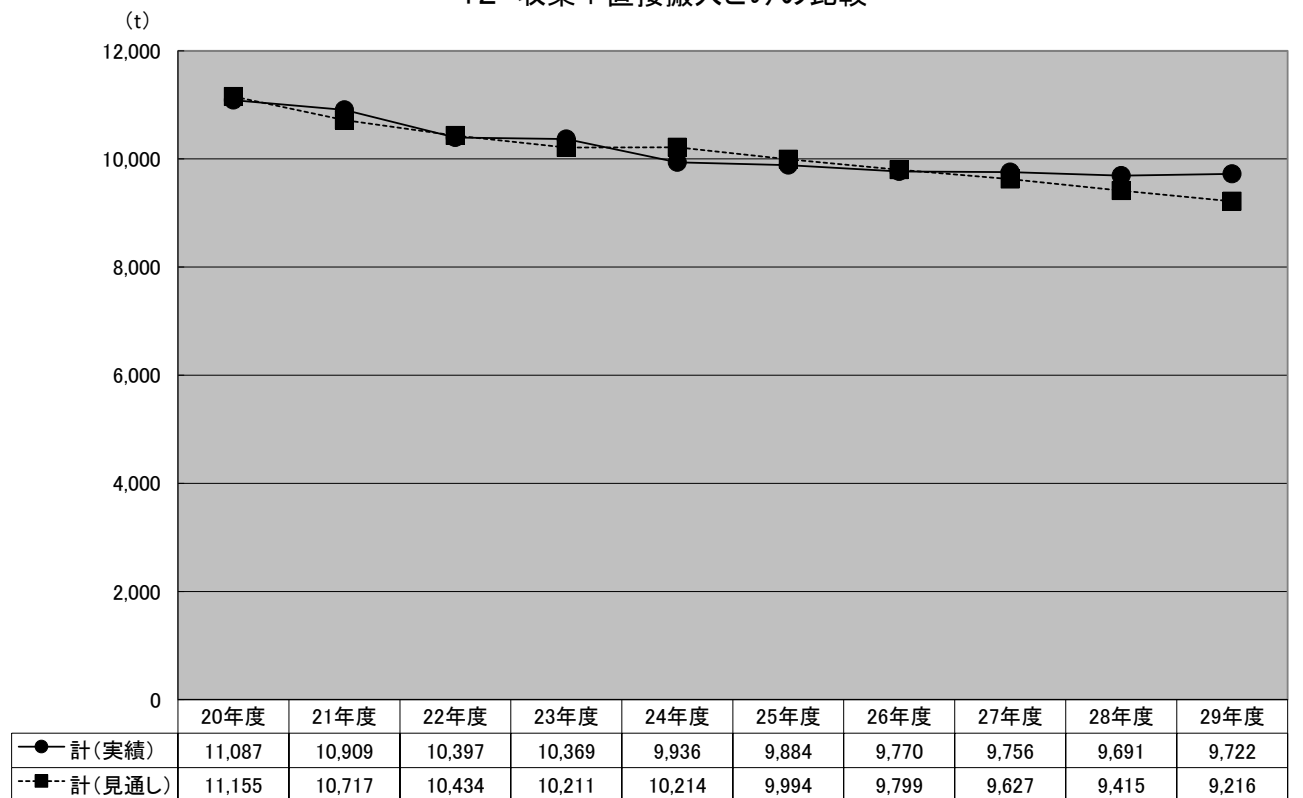
10 粗大ごみと不燃ごみの合計の比較 (収集+直接搬入ごみ)



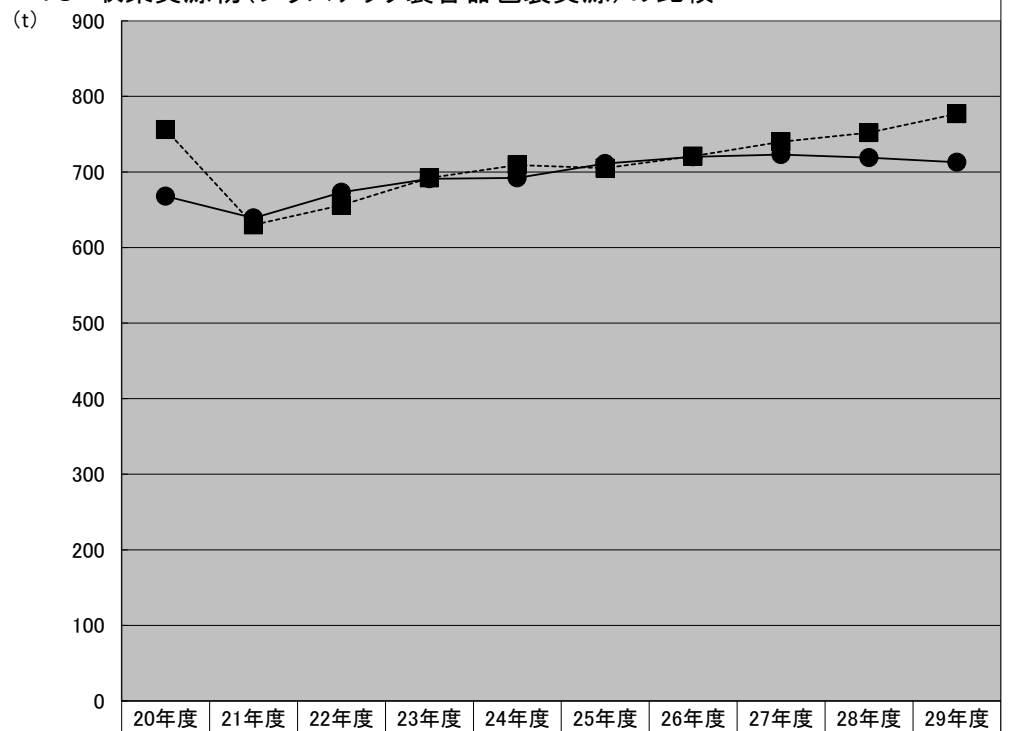
11 埋立ごみの比較(収集+直接搬入ごみ)



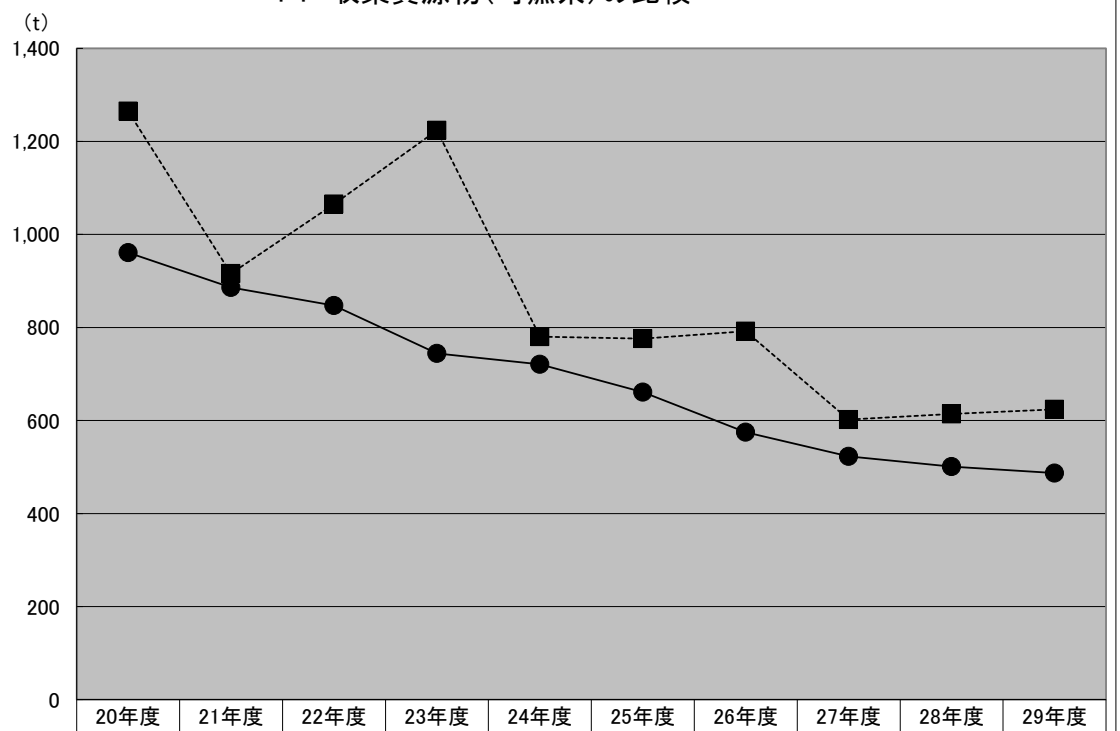
12 収集+直接搬入ごみの比較



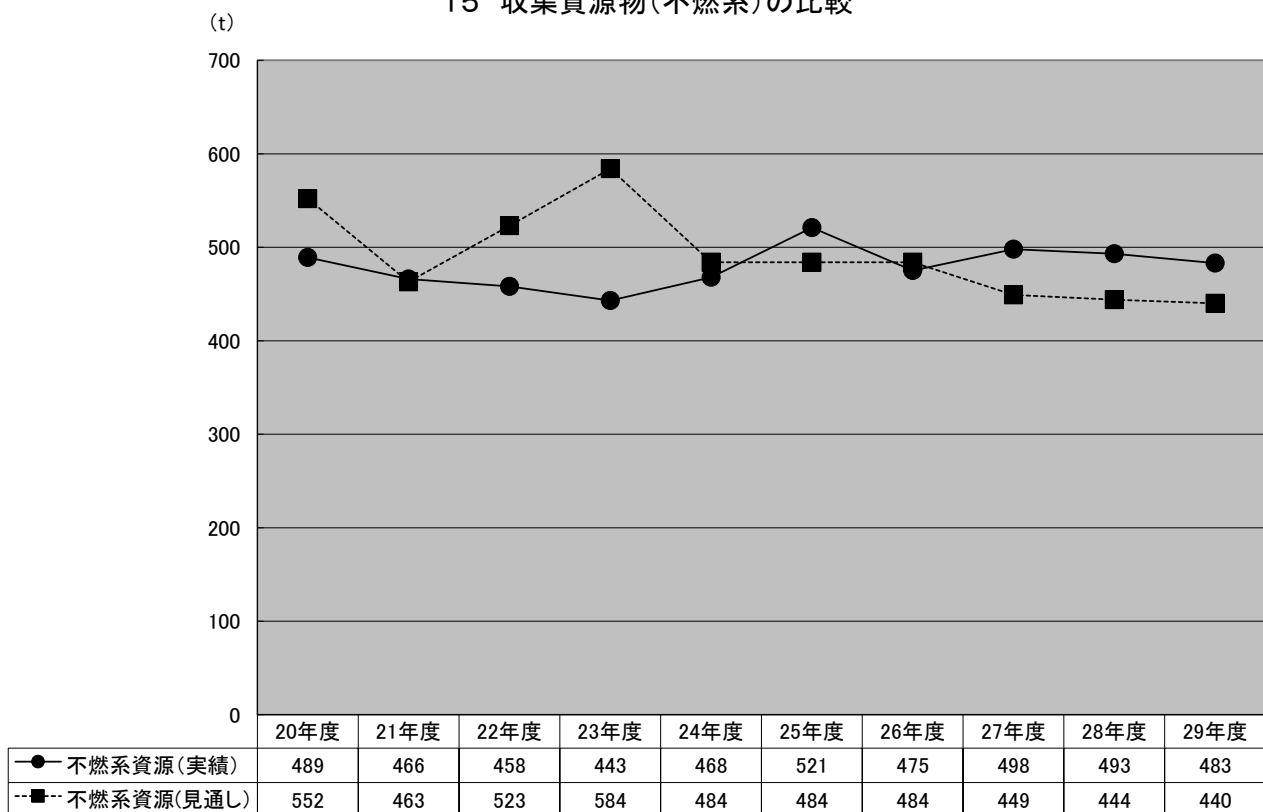
13 収集資源物(プラスチック製容器包装資源)の比較



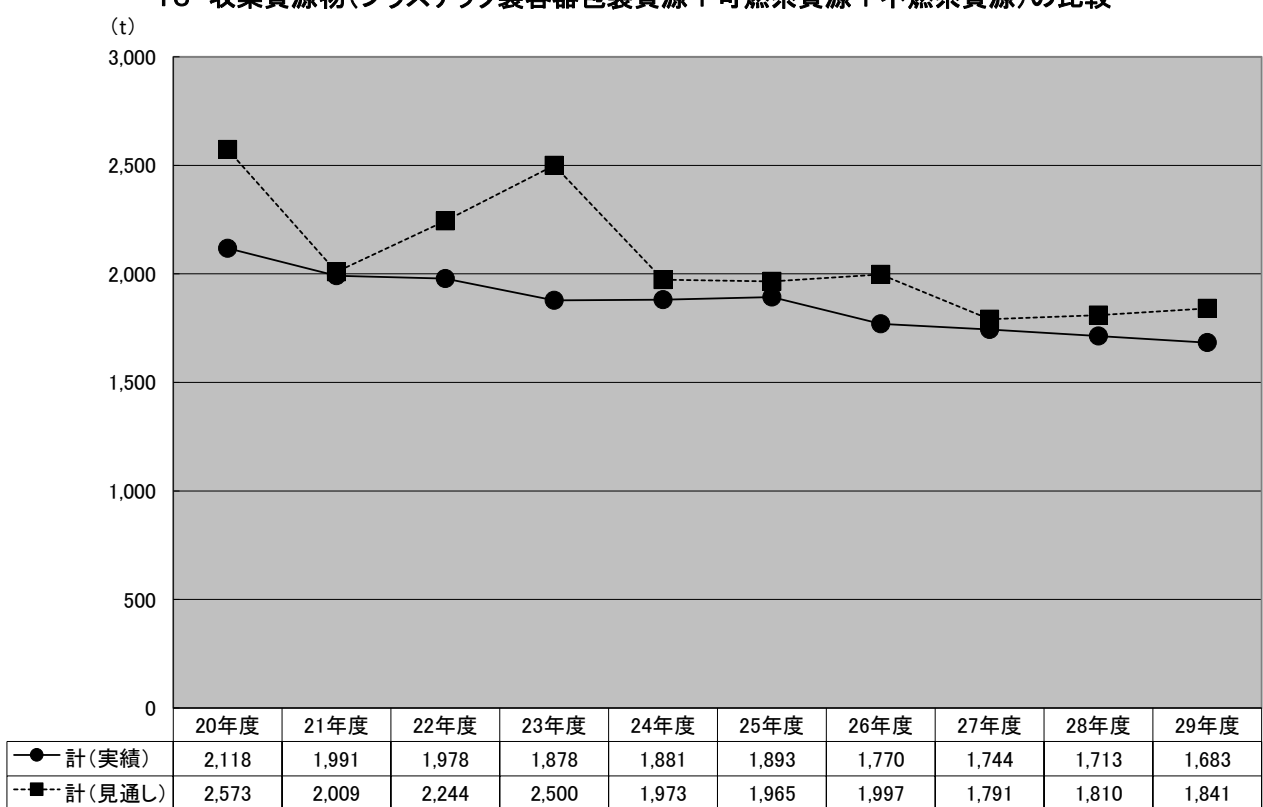
14 収集資源物(可燃系)の比較



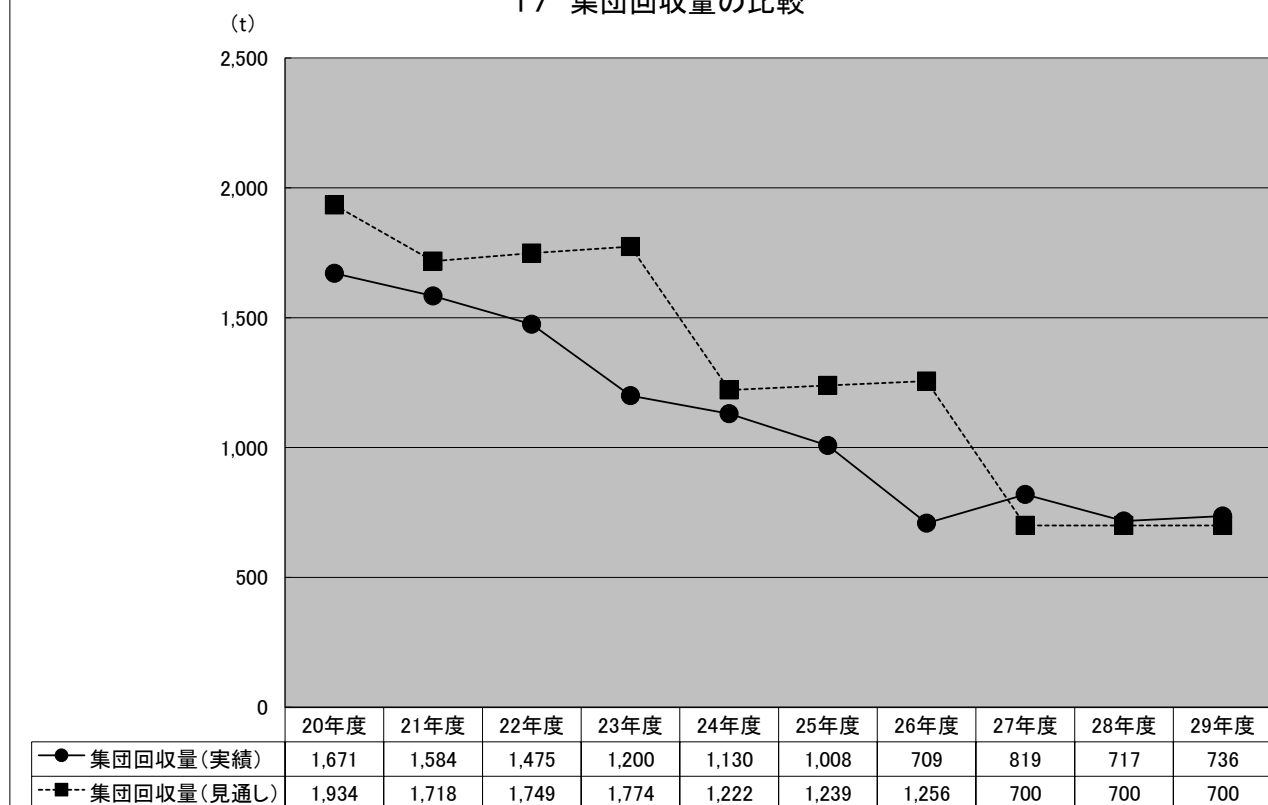
15 収集資源物(不燃系)の比較



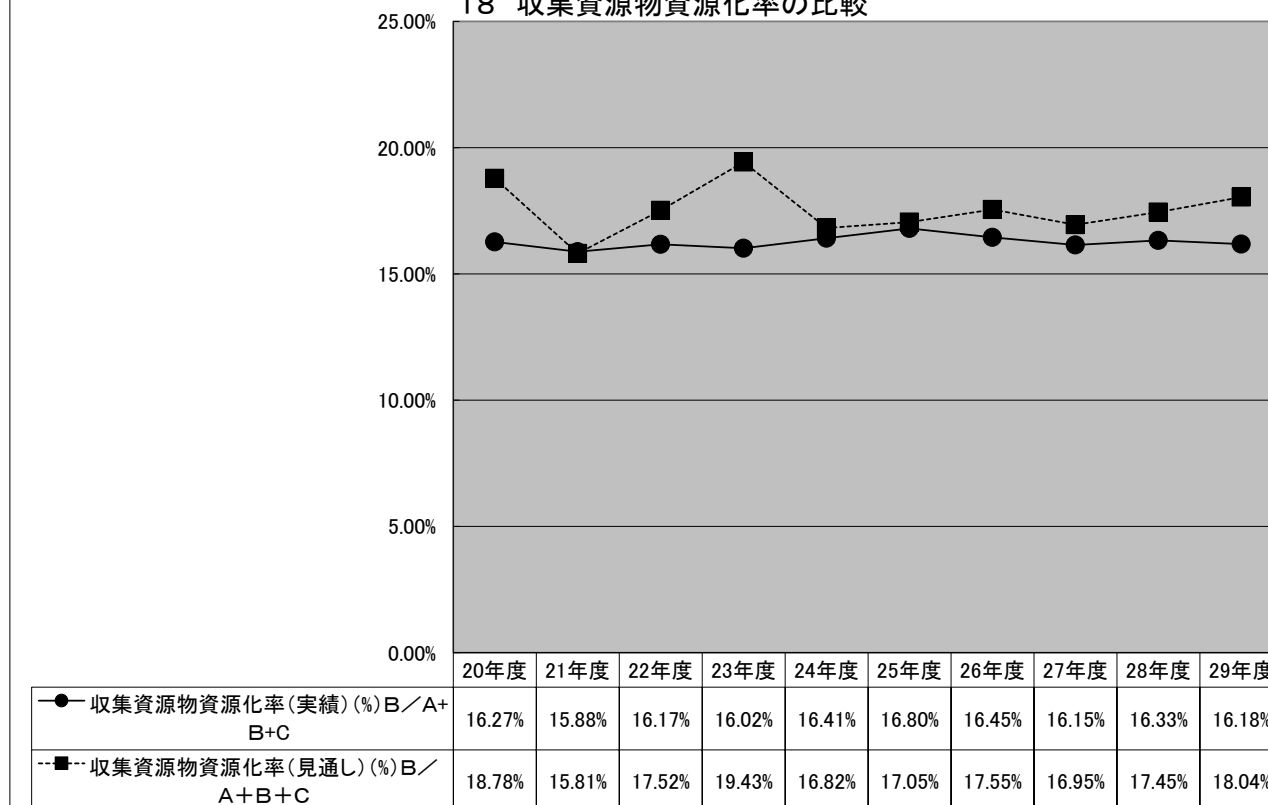
16 収集資源物(プラスチック製容器包装資源+可燃系資源+不燃系資源)の比較



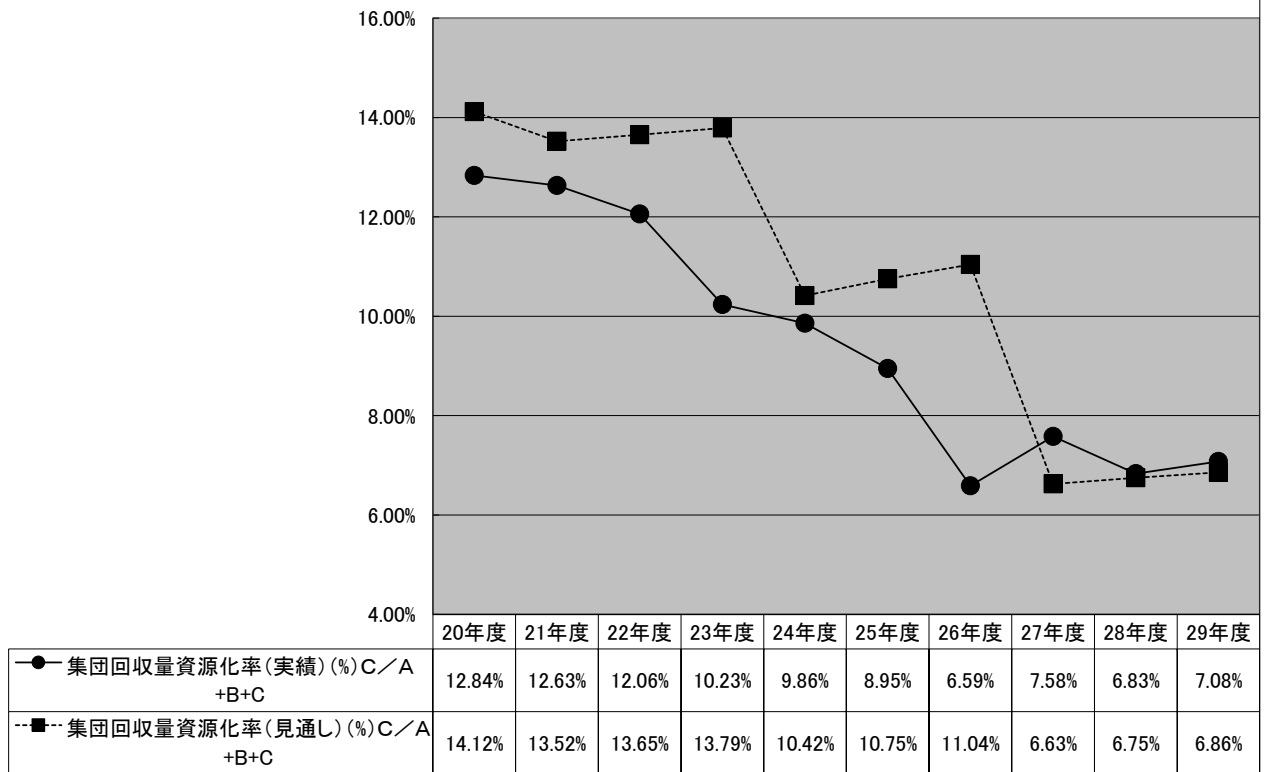
17 集団回収量の比較



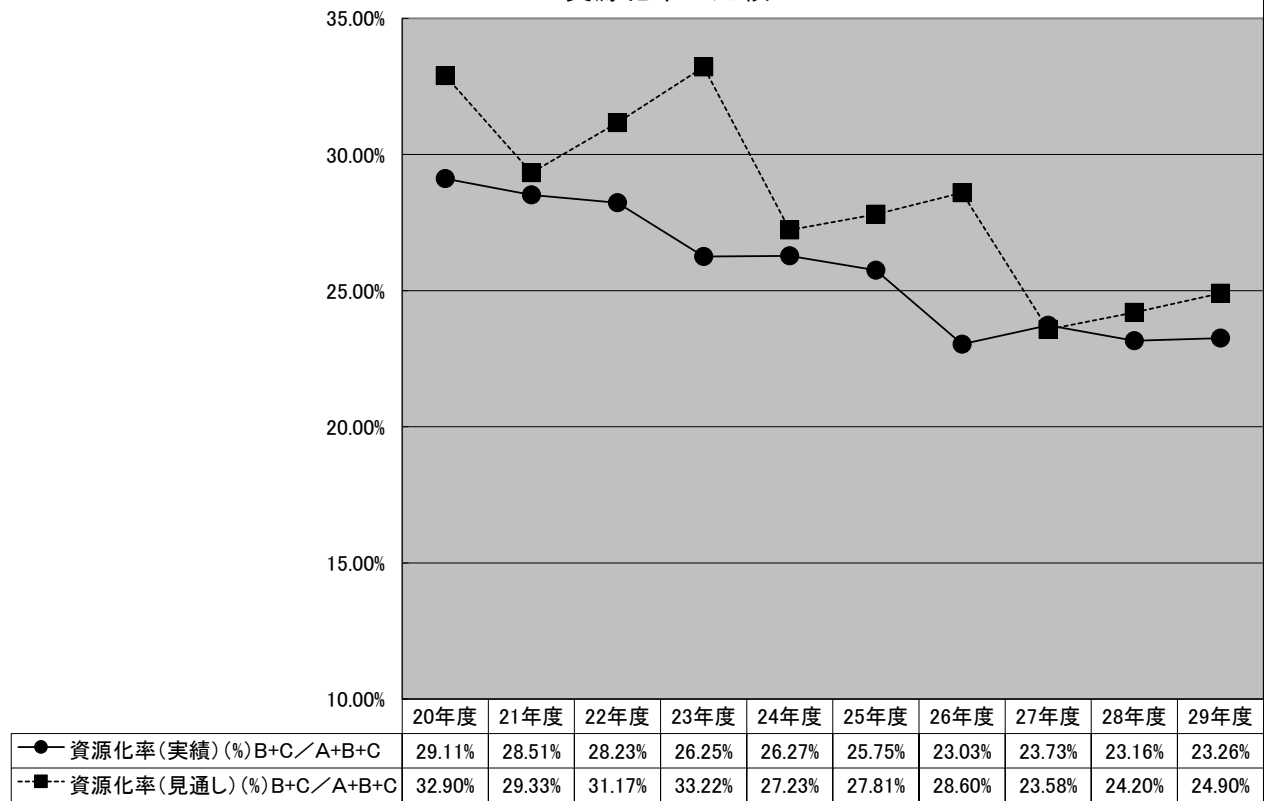
18 収集資源物資源化率の比較



19 集団回収量資源化率の比較



20 資源化率の比較



第3章 ごみ排出量の見込み

単位:人・トン

	実績										見込み										
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
年度末人口	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315

収集 ごみ 量 A	可燃ごみ	8,214	7,956	7,769	7,704	7,543	7,456	7,421	7,362	7,230	7,199	7,123	7,017	6,914	6,857	6,801	6,746	6,693	6,635	6,573	6,512	6,468
	粗大ごみ	51	59	49	45	44	53	50	63	58	57	52	52	51	51	51	51	51	50	50	50	50
	不燃ごみ	965	948	962	898	862	856	812	813	775	726	712	688	683	662	660	641	641	620	617	598	597
	埋立ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9,230	8,963	8,780	8,647	8,449	8,365	8,283	8,238	8,063	7,982	7,887	7,757	7,648	7,570	7,512	7,438	7,385	7,305	7,240	7,160	7,115
直搬 ごみ	可燃ごみ	1,512	1,632	1,466	1,583	1,331	1,346	1,327	1,347	1,436	1,437	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441
	粗大ごみ	163	130	109	101	126	143	139	144	159	163	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
	不燃ごみ	57	68	41	34	28	28	20	26	25	22	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	埋立ごみ	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	計	1,857	1,946	1,617	1,722	1,487	1,519	1,487	1,518	1,628	1,740	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606
収集 + 直搬 ごみ 量	可燃ごみ	9,726	9,588	9,235	9,287	8,874	8,802	8,748	8,709	8,666	8,636	8,564	8,458	8,355	8,298	8,242	8,187	8,134	8,076	8,014	7,953	7,909
	粗大ごみ	214	189	158	146	170	196	189	207	217	220	189	189	188	188	188	188	188	187	187	187	187
	不燃ごみ	1,022	1,016	1,003	932	890	884	832	839	800	748	737	713	708	687	685	666	666	645	642	623	622
	埋立ごみ	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	計	11,087	10,909	10,397	10,369	9,936	9,884	9,770	9,756	9,691	9,722	9,493	9,363	9,254	9,176	9,118	9,044	8,991	8,911	8,846	8,766	8,721

家庭系ごみ1人1日 当たりの排出量 A×1,000,000/人・日	515g	503g	497g	494g	484g	483g	476g	474g	459g	457g	454g	451g	448g	446g	444g	441g	438g	436g	434g	431g	429g
---	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

収集 資源 物 B	プラスチック 製容器包装資 源化量	668	639	673	691	692	711	720	723	719	713	712	705	700	696	694	691	691	687	684	681	680
	新聞	422	370	343	296	297	249	211	193	175	164	156	155	154	153	135	135	135	134	117	116	116
	雑誌・雑がみ	305	276	266	226	213	201	177	164	160	160	159	158	157	156	155	155	155	154	153	153	152
	ダンボール	134	145	140	123	115	107	95	91	95	93	92	91	90	90	90	89	89	89	88	88	88
	古着類	86	81	86	88	84	93	80	70	66	66	69	69	68	68	68	67	67	67	67	66	66
	牛乳パック	14	14	12	11	12	11	12	5	5	4	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	可燃系資源計	961	886	847	744	721	661	575	523	501	487	484	481	477	475	456	454	454	452	433	431	430
	アルミ	28	30	31	28	32	27	23	28	28	23	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	スチール	53	52	50	53	52	51	46	43	42	41	38	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36
	金属・ 小型家電	70	60	56	49	84	138	121	143	145	150	156	155	154	153	152	169	169	168	167	166	166
	びん類(再使 用びん含む)	269	257	253	244	234	234	222	219	215	207	208	206	205	204	203	202	185	184	184	183	182
	ペットボトル	63	61	62	61	61	63	59	60	61	57	56	56	55	55	55	55	55	54	54	54	54
	蛍光管	6	6	6	8	5	8	4	5	2	5	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	不燃系資源計	489	466	458	443	468	521	475	498	493	483	486	482	479	477	475	491	474	471	469	467	466
	計	2,118	1,991	1,978	1,878	1,881	1,893	1,770	1,744	1,713	1,683	1,682	1,668	1,656	1,648	1,625	1,636	1,619	1,610	1,586	1,579	1,576

集団 回 収 量 C	新聞	894	839	781	607	585	512	344	406	355	360	354	348	342	336	330	325	319	314	308	303	298
	雑誌・雑がみ	407	395	375	316	293	263	205	216	189	192	191	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181
	ダンボール	262	250	223	184	167	153	105	135	119	130	129	127	126	125	124	122	121	120	119	118	116
	古着類	95	88	84	84	75	72	51	52	46	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	32	32
	牛乳パック	5	5	5	4	4	3	2	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
	可燃系資源計	1,663	1,577	1,468	1,195	1,124	1,003	707	814	713	731	722	711	702	693	684	674	665	657	648	639	631
	アルミ	8	7	7	5	6	5	2	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
	不燃系資源計	8	7	7	5	6	5	2	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
	計	1,671	1,584	1,475	1,200	1,130	1,008	709	819	717	736	727	716	707	697	688	678	669	661	652	643	635

収集資源物資源化率 B/(A+B+C)	16.27%	15.88%	16.17%	16.02%	16.41%	16.80%	16.45%	16.15%	16.33%	16.18%	16.34%	16.45%	16.54%	16.62%	16.54%	16.78%	16.74%	16.81%	16.73%	16.83%	16.90%
------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

集団回収量資源化率 C/(A+B+C)	12.84%	12.63%	12.06%	10.23%	9.86%	8.95%	6.59%	7.58%	6.83%	7.08%	7.06%	7.06%	7.06%	7.03%	7.00%	6.95%	6.92%	6.90%	6.88%	6.85%	6.81%
------------------------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

資源化率 (B+C)/(A+B+C)	29.11%	28.51%	28.23%	26.25%	26.27%	25.75%	23.04%	23.73%	23.16%	23.26%	23.40%	23.51%	23.60%	23.65%	23.54%	23.73%	23.66%	23.71%	23.61%	23.68%	23.71%
-----------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

※「直搬ごみ」:直接搬入ごみ

計画期間における人口の推計

本計画の人口推計は、平成28年3月に策定された「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」でコーホート要因法により推計した人口を参考にしています。その結果、平成40年度までの推計人口は下表のとおりとなります。

なお、一般廃棄物処理基本計画においては年度末人口を用いるため、「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値をもとに推計した各年10月1日現在の人口を年度末人口としてみなすものとします。

単位:人

	実績値									
年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
年度末人口(人)	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849

単位:人

	推計値										
	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度
年度末人口(人)	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315

1 収集ごみの見込み

※印:うるう年を表す。

単位:人

	実績										見込み										
年度	※ H20	H21	H22	H23	※ H24	H25	H26	H27	※ H28	H29	H30	H31	※ H32	H33	H34	H35	※ H36	H37	H38	H39	※ H40
年度末人口	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315

原単位(市民1人1日当たりの排出量)

単位:g

直営A	可燃ごみ	459	447	440	440	432	430	426	423	412	412	410	408	405	404	402	400	397	396	394	392	390
	粗大ごみ	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	不燃ごみ	54	53	54	51	49	49	47	47	44	42	41	40	40	39	39	38	38	37	37	36	36
	埋立ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	516	503	497	494	484	482	476	474	459	457	454	451	448	446	444	441	438	436	434	431	429

【可燃ごみ】平成40年度には平成29年度(412g)に比べ5.3%減(▲22g)になると見込んだ。

【粗大ごみ】傾向としてはほぼ横ばいであり、この傾向は平成40年度まで続くものと見込んだ。

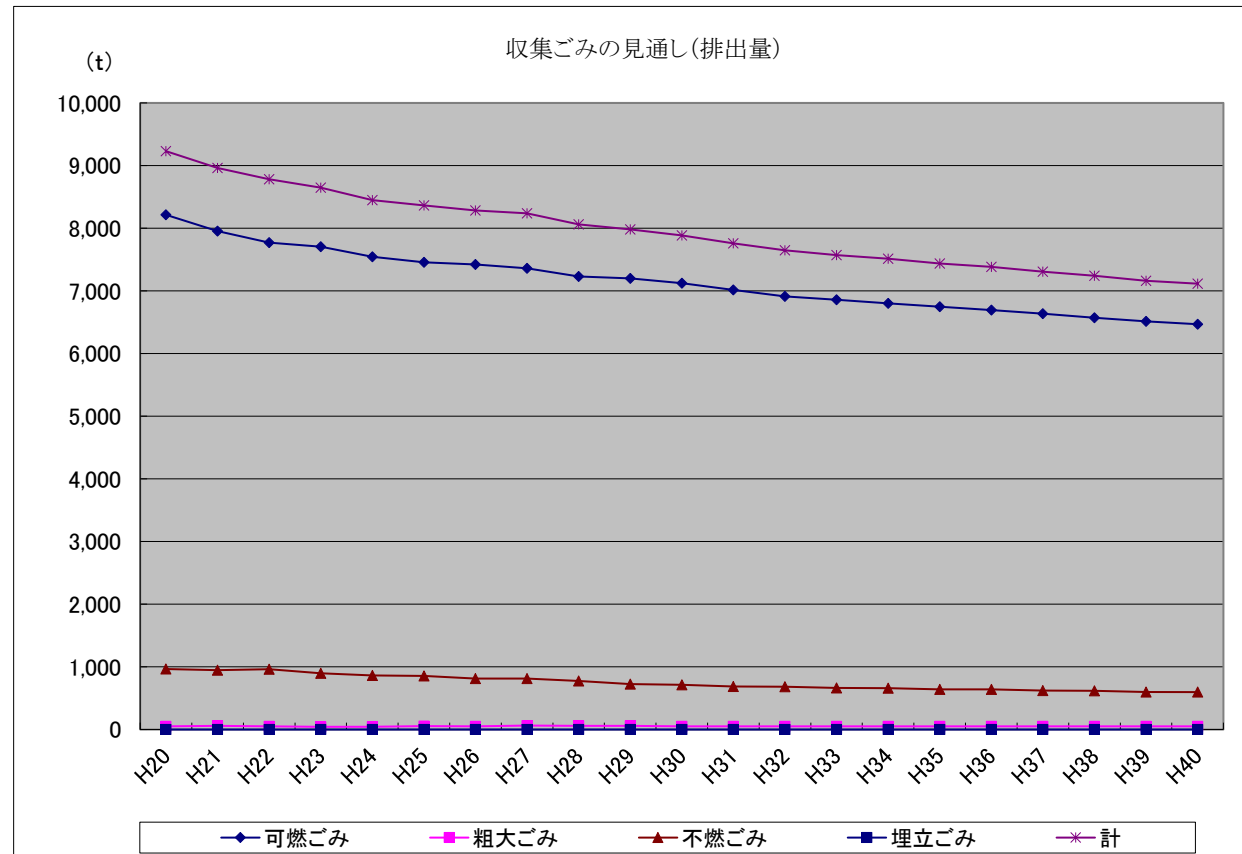
【不燃ごみ】平成40年度には平成29年度(42g)に比べ14.3%減(▲6g)減と見込んだ。

【埋立ごみ】平成8年度以降埋立ごみの収集実績は全くないため今後も0になるものとした。

排出量

単位:トン

直営A	可燃ごみ	8,214	7,956	7,769	7,704	7,543	7,456	7,421	7,362	7,230	7,199	7,123	7,017	6,914	6,857	6,801	6,746	6,693	6,635	6,573	6,512	6,468
	粗大ごみ	51	59	49	45	44	53	50	63	58	57	52	52	51	51	51	51	51	50	50	50	50
	不燃ごみ	965	948	962	898	862	856	812	813	775	726	712	688	683	662	660	641	641	620	617	598	597
	埋立ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9,230	8,963	8,780	8,647	8,449	8,365	8,283	8,238	8,063	7,982	7,887	7,757	7,648	7,570	7,512	7,438	7,385	7,305	7,240	7,160	7,115
年度		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40



2 直接搬入ごみ(許可業者+その他一般)の見込み

※印:うるう年を表す。

単位:人・トン

		実績										見込み										
年度		※ H20	H21	H22	H23	※ H24	H25	H26	H27	※ H28	H29	H30	H31	※ H32	H33	H34	H35	※ H36	H37	H38	H39	※ H40
年度末 人口		48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315
その他一般	可燃 ごみ	90	142	63	69	61	55	61	62	81	90	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77
	粗大 ごみ	123	86	71	58	84	92	87	83	93	96	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87
	不燃 ごみ	57	68	41	34	28	28	20	26	25	22	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	埋立 ごみ	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	計	395	412	176	165	175	177	169	172	207	326	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192
許可業者	可燃 ごみ	1,422	1,490	1,403	1,514	1,270	1,291	1,266	1,285	1,355	1,347	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364
	粗大 ごみ	40	44	38	43	42	51	52	61	66	67	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	不燃 ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埋立 ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,462	1,534	1,441	1,557	1,312	1,342	1,318	1,346	1,421	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414	1,414
計	可燃 ごみ	1,512	1,632	1,466	1,583	1,331	1,346	1,327	1,347	1,436	1,437	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441
	粗大 ごみ	163	130	109	101	126	143	139	144	159	163	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
	不燃 ごみ	57	68	41	34	28	28	20	26	25	22	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	埋立 ごみ	125	116	1	4	2	2	1	1	8	118	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	計	1,857	1,946	1,617	1,722	1,487	1,519	1,487	1,518	1,628	1,740	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606

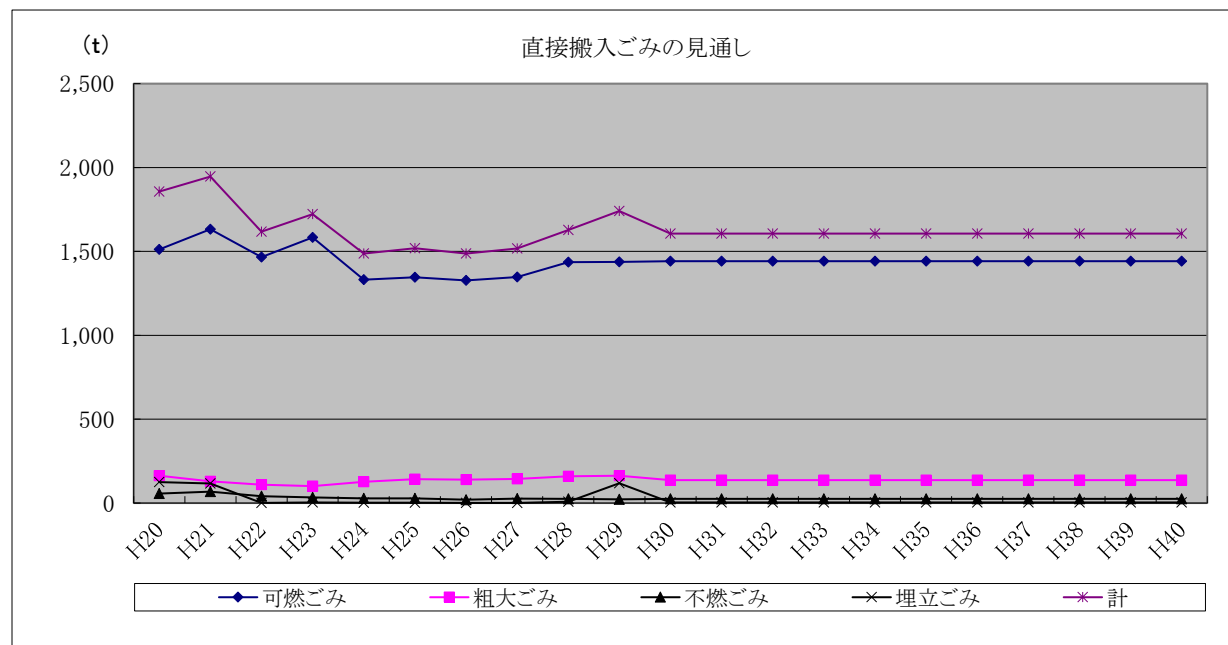
直接搬入ごみは、事業系のごみ、または市民等による小牧岩倉エコルセンターへの持込であるため原単位ではなく排出量で見込むものとする。

【可燃ごみ】年度による差が著しいため、平成20年度から平成29年度の平均でその他一般は77トン、許可業者は1,364トンを見込んだ。

【粗大ごみ】年度による差が著しいため、平成20年度から平成29年度の平均でその他一般は87トン、許可業者は50トンを見込んだ。

【不燃ごみ】平成18年4月からの許可業者不燃ごみ搬入禁止に伴い許可業者は0とする。その他一般の不燃ごみは年度による差が著しかったが、平成24年度以降は安定しているため直近6年間の平均で25トンを見込んだ。

【埋立ごみ】その他一般は側溝の清掃による汚泥を埋立ごみとして搬入していたが、平成22年度より産業廃棄物として取り扱うこととし、大きく減少したため、平成22年度から平成28年度の平均3トンで増減なしと見込んだ。なお、平成29年度の118トンについては、瓦や基礎部分まで全焼する火事がこの年度だけで数件発生したものであり、特殊要因として取り扱うものとし、平均には含めなかった。



3 行政回収資源の見込み

※印:うるう年を表す。

単位:人

	実績										見込み										
年度	※ H20	H21	H22	H23	※ H24	H25	H26	H27	※ H28	H29	H30	H31	※ H32	H33	H34	H35	※ H36	H37	H38	H39	H40
年度末 人口	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315

原単位(市民1人1日当たりの排出量)

単位:g

行政 回 収	プラスチック 製容器包装 資源化量	37	36	38	39	40	41	41	42	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
	新聞	24	21	19	17	17	14	12	11	10	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7	7
	雑誌・雑がみ	17	16	15	13	12	12	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	ダンボール	7	8	8	7	7	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	古着類	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	牛乳パック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	可燃系 資源 計	55	51	48	43	42	38	33	30	29	28	28	28	28	27	27	27	27	26	26	26
	アルミ	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	スチール	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	金属・ 小型家電	4	3	3	3	5	8	7	8	8	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10
	びん類(再使 用びん含む)	15	14	14	14	13	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11
	ペット ボトル	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	蛍光管	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	不燃系 資源 計	29	26	27	26	27	32	28	29	28	28	28	28	28	28	29	28	28	28	28	28
	計	121	113	113	108	109	111	102	101	98	97	97	97	97	96	97	96	96	95	95	95

【プラスチック製容器包装資源】傾向としてほぼ横ばいで推移しており、今後も横ばいで推移し平成40年度も41gになると見込んだ。また、平成40年度までに資源化率87%を目標とする。

【新聞】日曜資源回収の拡大やe-ライフプラザの開設等により市民の資源排出機会を増やしたものの、近年、民間事業者による自主回収の拡大やメディアの発達による紙離れが進み回収量は大幅に減少した。今後は、民間事業者の回収が既に定着したと考え、ゆるやかな減少になるものと見込み、平成40年度には7gになると見込んだ。

【雑誌・雑がみ】【ダンボール】近年の傾向として、民間事業者による自主回収の拡大や市民の間で過剰包装を断る(リフューズ)傾向、電子メディアの普及に伴う雑誌媒体の減少等の減少要因がある一方で、インターネット通販による宅配梱包の増加や雑がみ資源化施策を一層推進すること等の増要因もあるため、横ばいに推移するものと見込む。

平成40年度 雑誌・雑がみ9g ダンボール5g

【古着類】近年、市民の間でリユース(再利用)が定着しており減少の傾向にあるが、一方で日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加しているため、増減がほとんどない見込み平成40年度には4gになると見込んだ。

【牛乳パック】民間事業者による自主回収の拡大の一方で、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加しているため、増減がほとんどない見込み1gとした。

【アルミ】【スチール】民間事業者による自主回収の拡大の一方で、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加しているため、平成40年度には増減がほとんどないものと見込んだ。

平成40年度 アルミ1g スチール2g

【金属・小型家電】家電の小型化が進む一方、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加しており、平成40年度まではやや増加するものと見込み、10gとした。

【びん類】平成40年度まではわずかに減少傾向にあると見込み11gとした。

【ペットボトル】民間事業者による自主回収の拡大等減少要因もあるが、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加しており、平成40年度まではほとんど増減がないものと見込み、3gとした。

【蛍光管】平成40年度までは横ばいで継続して排出されるものと見込み、1gとした。

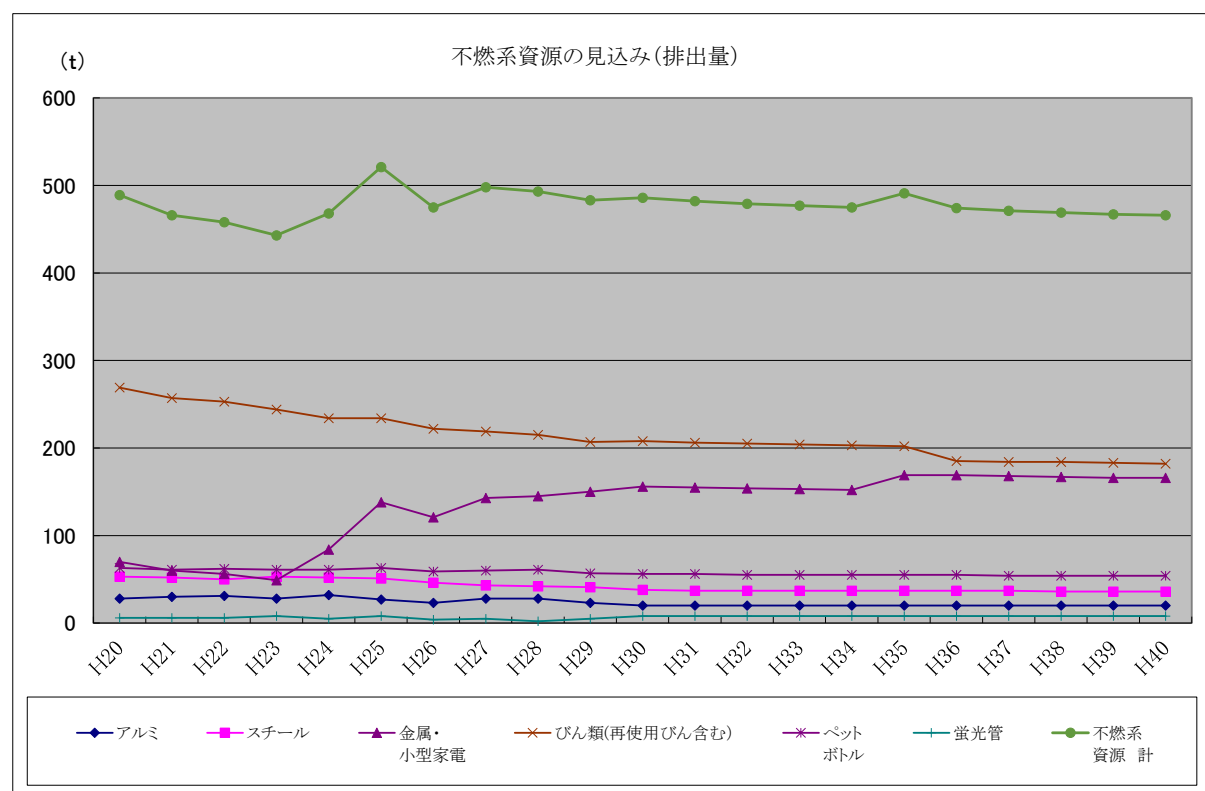
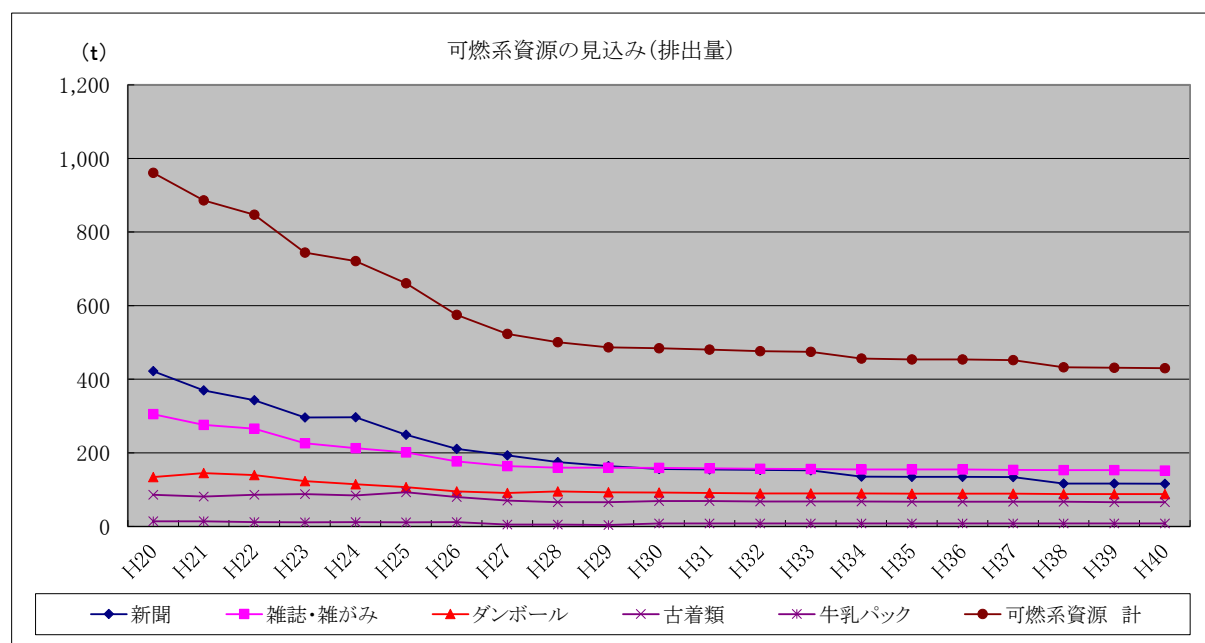
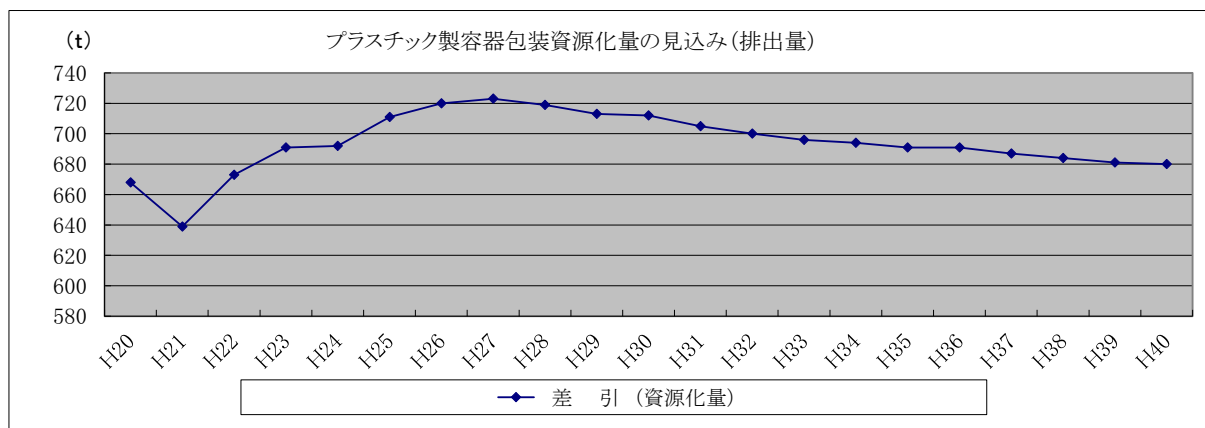
排出量

単位:トン

プラ資源	プラ資源 (中間施設 搬入量)	891	829	850	824	817	848	844	860	850	856	839	829	820	814	809	802	800	793	788	782	778
	異物のうちリ サイクル分	107	83	93	73	63	76	78	94	82	71	80	79	77	76	75	73	72	71	70	68	67
	異物のうち 小牧岩倉 搬入分	116	107	84	60	62	61	46	43	49	72	47	45	43	42	40	38	37	35	34	33	31
	差 引 (資源化量)	668	639	673	691	692	711	720	723	719	713	712	705	700	696	694	691	691	687	684	681	680
	資源化率	75	77	79	84	85	84	85	84	85	83	85	85	85	86	86	86	86	87	87	87	87

行政回収	新聞	422	370	343	296	297	249	211	193	175	164	156	155	154	153	135	135	135	134	117	116	116
	雑誌・雑がみ	305	276	266	226	213	201	177	164	160	160	159	158	157	156	155	155	155	154	153	153	152
	ダンボール	134	145	140	123	115	107	95	91	95	93	92	91	90	90	90	89	89	89	88	88	88
	古着類	86	81	86	88	84	93	80	70	66	66	69	69	68	68	68	67	67	67	67	66	66
	牛乳パック	14	14	12	11	12	11	12	5	5	4	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	可燃系資源 計	961	886	847	744	721	661	575	523	501	487	484	481	477	475	456	454	454	452	433	431	430
	アルミ	28	30	31	28	32	27	23	28	28	23	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	スチール	53	52	50	53	52	51	46	43	42	41	38	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36
	金属・ 小型家電	70	60	56	49	84	138	121	143	145	150	156	155	154	153	152	169	169	168	167	166	166
	びん類(再使 用びん含む)	269	257	253	244	234	234	222	219	215	207	208	206	205	204	203	202	185	184	184	183	182
	ペット ボトル	63	61	62	61	61	63	59	60	61	57	56	56	55	55	55	55	55	54	54	54	54
	蛍光管	6	6	6	8	5	8	4	5	2	5	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	不燃系資源 計	489	466	458	443	468	521	475	498	493	483	486	482	479	477	475	491	474	471	469	467	466
	計	1,450	1,352	1,305	1,187	1,189	1,182	1,050	1,021	994	970	970	963	956	952	931	945	928	923	902	898	896

合 計	2,118	1,991	1,978	1,878	1,881	1,893	1,770	1,744	1,713	1,683	1,682	1,668	1,656	1,648	1,625	1,636	1,619	1,610	1,586	1,579	1,576
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40



4 集団回収資源の見込み

※印:うるう年を表す。

単位:人

	実績										見込み										
年度	※ H20	H21	H22	H23	※ H24	H25	H26	H27	※ H28	H29	H30	H31	※ H32	H33	H34	H35	※ H36	H37	H38	H39	H40
年度末 人口	48,935	48,772	48,394	47,993	47,658	47,474	47,686	47,656	48,000	47,849	47,596	47,118	46,643	46,499	46,353	46,207	46,061	45,907	45,709	45,512	45,315

単位:トン(※1)

集団回収	新聞	894	839	781	607	585	512	344	406	355	360	354	348	342	336	330	325	319	314	308	303	298
	雑誌・雑がみ	407	395	375	316	293	263	205	216	189	192	191	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181
	ダンボール	262	250	223	184	167	153	105	135	119	130	129	127	126	125	124	122	121	120	119	118	116
	古着類	95	88	84	84	75	72	51	52	46	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	32	32
	牛乳パック	5	5	5	4	4	3	2	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
	可燃系資源計	1,663	1,577	1,468	1,195	1,124	1,003	707	814	713	731	722	711	702	693	684	674	665	657	648	639	631
	アルミ	8	7	7	5	6	5	2	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
	不燃系資源計	8	7	7	5	6	5	2	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
	計	1,671	1,584	1,475	1,200	1,130	1,008	709	819	717	736	727	716	707	697	688	678	669	661	652	643	635

※1 集団回収は、人口に応じて変動するものではないため原単位ではなく排出量で見込む。

【新聞】日曜資源回収の拡大やe-ライフプラザの開設等により市民の資源排出機会を増やしたものの、近年、民間事業者による自主回収の拡大やメディアの発達による紙離れが進み回収量は大幅に減少した。今後は、民間事業者の回収が既に定着したと考え、ゆるやかな減少になるものと見込み、平成40年度には298gになると見込んだ。

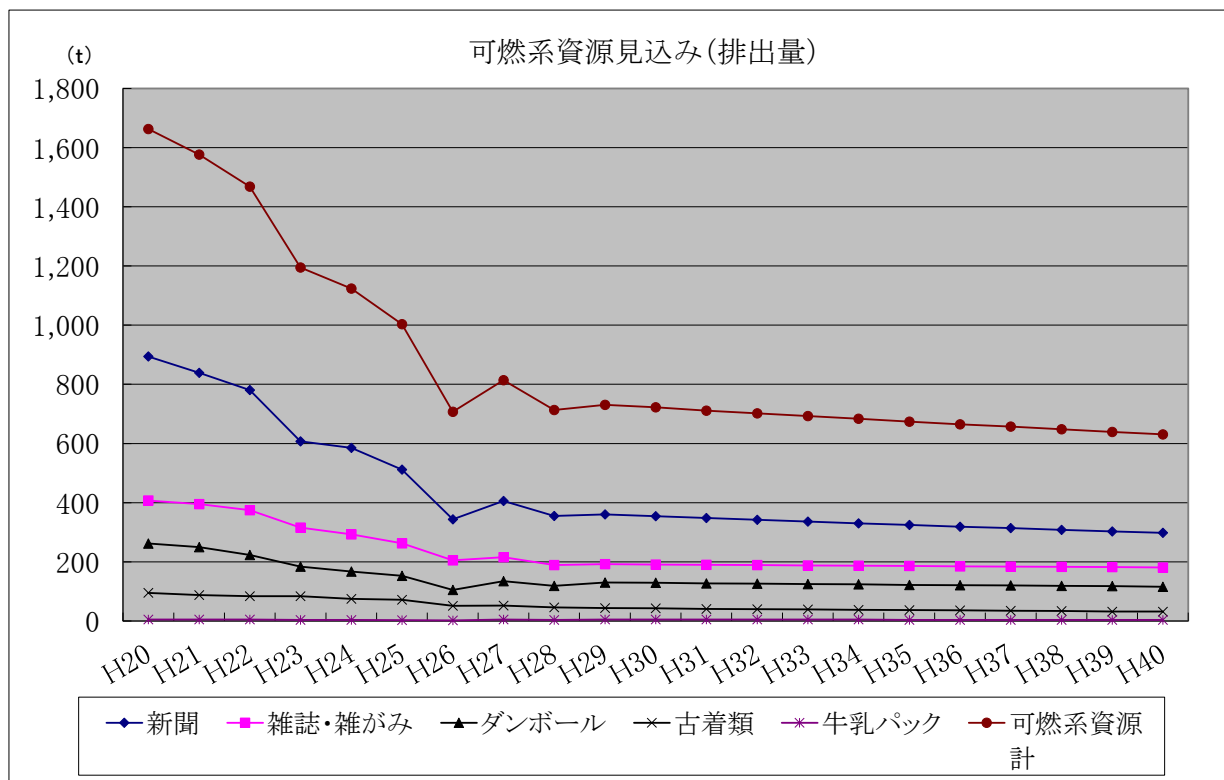
【雑誌・雑がみ】近年の傾向として、民間事業者による自主回収の拡大や市民の間で過剰包装を断る(リフューズ)傾向の増加、電子メディアの普及に伴う雑誌媒体の減少等の減少要因もあるが、一方で雑がみの資源化を図る施策を推進していくことで緩やかに減少していくものと見込み、平成40年度には181トンになると見込んだ。

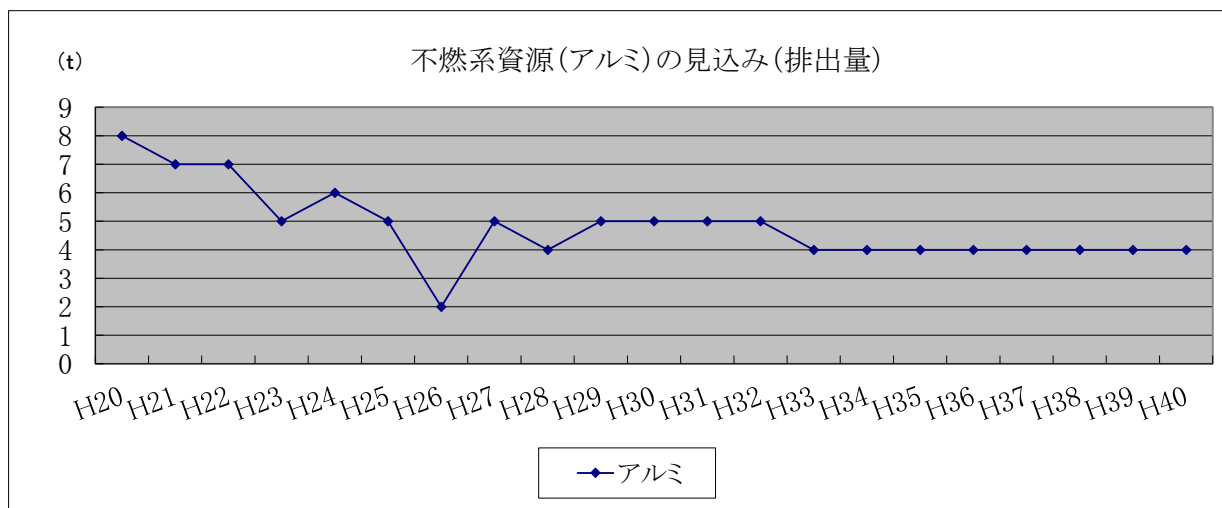
【ダンボール】近年の傾向として、民間事業者による自主回収の拡大による減少要因があり、一方でインターネット通販による宅配梱包の増加がみられる。全体としては減少傾向であり、この先もこの傾向は続くと思込まれるが、減少は緩やかになるものとし、平成40年度には116トンになると見込んだ。

【古着類】近年の傾向として、市民の間でリユース(再利用)が定着しており、また、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加するなか、全体としての減少傾向はこの先も続くと思込まれるが、減少は緩やかになるものとし、平成40年度には32トンになると見込んだ。

【牛乳パック】近年の傾向として、民間事業者による自主回収が拡大しており、また、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加するなか、全体としての減少傾向はこの先も続くと思込まれるが、目標としては現状維持とし、平成40年度には4トンになると見込んだ。

【アルミ】近年の傾向として、民間事業者による自主回収が拡大しており、また、日曜資源回収やe-ライフプラザの利用者が増加するなか、全体としての減少傾向はこの先も続くと思込まれるが、目標としては現状維持とし、平成40年度には4トンになると見込んだ。





第5次岩倉市一般廃棄物処理計画—ごみ処理計画—

<資料編>

2019 年（平成 31 年） 2 月

発 行：岩倉市役所

問合先：岩倉市市民部環境保全課廃棄物グループ

〒482-8686 愛知県岩倉市栄町一丁目 66 番地

TEL 0587-66-1111（代表）内線 592

0587-38-5808（ダイヤルイン）

FAX 0587-66-6100

岩倉市清掃事務所

〒482-8686 愛知県岩倉市石仏町稲葉 1 番地

TEL 0587-66-5912

FAX 0587-66-5942

岩倉市ホームページアドレス：<http://www.city.iwakura.aichi.jp/>